

令和 2 年度福岡県計画に関する 事後評価

※介護従事者の確保に関する事業分のみ

令和 7 年 2 月

福岡県

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行った</p> <p>(実施状況)</p> <p>[令和2年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和3年12月 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p>[令和3年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和5年1月17日~1月24日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p>[令和4年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和6年1月22日~2月2日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p>[令和5年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和7年2月14日~2月21日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p><input type="checkbox"/> 行わなかった</p> <p>(行わなかった場合、その理由)</p>
--

(2) 審議会等で指摘された主な内容

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p>[審議会等で指摘された主な内容]</p> <p>[令和2年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和3年12月福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会) <p>[令和3年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和5年1月24日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会)(書面開催) <p>[令和4年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和6年2月2日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会)(書面開催) <p>[令和5年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和7年2月21日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会)(書面開催)

2. 目標の達成状況

■ 福岡県全体

1. 目標

福岡県においては、超高齢社会を迎えるにあたって、県民が住み慣れた地域で生活しながら

適切な医療・介護を受けられる体制を構築し、県民生活の「安定」、「安全」、「安心」を向上させるため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

・令和8年度の福岡県で必要となる介護人材 94,458人を確保する。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 福岡県全体（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和2年度） 82,744人（対前年度比 3,477人減）

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 福岡・糸島区域

1. 目標

福岡・糸島区域は、政令指定都市である福岡市及び糸島市の2市から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は1,657,173人、高齢者人口は368,566人、高齢化率22.2%となっている。県内最大の人口を擁し、高齢化率は県平均（27.4%）と比較し低いものの、今後、急激な高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、福岡・糸島区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 福岡・糸島区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和2年度) 82,744人 (対前年度比 3,477人減)
(令和3年度) 85,937人 (対前年度比 3,193人増)
(令和4年度) 86,049人 (対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じ

ている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比 3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比 112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 粕屋区域

1. 目標

粕屋区域は、古賀市並びに粕屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、及び粕屋町の1市7町から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は294,078人、高齢者人口は69,233人、高齢化率23.5%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、粕屋区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 粕屋区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和2年度）	82,744人（対前年度比 3,477人減）
（令和3年度）	85,937人（対前年度比 3,193人増）
（令和4年度）	86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 宗像区域

1. 目標

宗像区域は、宗像市及び福津市の2市から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は163,352人、高齢者人口は46,817人、高齢化率28.6%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）よりやや高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、宗像区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 宗像区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和2年度） 82,744人（対前年度比 3,477人減）

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 筑紫区域

1. 目標

筑紫区域は、筑紫野市、春日市、大野城市及び太宰府市並びに那珂川市の5市から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は440,295人、高齢者人口は104,446人、高齢化率23.7%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、筑紫区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 筑紫区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 2 年度） 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 朝倉区域

1. 目標

朝倉区域は、朝倉市並びに朝倉郡筑前町及び東峰村の1市1町1村から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は84,444人、高齢者人口は27,801人、高齢化率32.9%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、朝倉区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 朝倉区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和2年度）	82,744人（対前年度比 3,477人減）
（令和3年度）	85,937人（対前年度比 3,193人増）
（令和4年度）	86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 久留米区域

1. 目標

久留米区域は、久留米市、大川市、小郡市及びうきは市並びに三井郡大刀洗町及び三潴郡大木町の4市2町から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は456,944人、高齢者人口は128,927人、高齢化率28.2%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、久留米区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 久留米区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和2年度) 82,744人(対前年度比 3,477人減)
(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)
(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した

平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 八女・筑後区域

1. 目標

八女・筑後区域は、八女市及び筑後市並びに八女郡広川町の 2 市 1 町から構成されており、令和 2 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 131,408 人、高齢者人口は 41,097 人、高齢化率 31.2%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）より高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、八女・筑後区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月

八女・筑後区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和2年度)	82,744人(対前年度比 3,477人減)
(令和3年度)	85,937人(対前年度比 3,193人増)
(令和4年度)	86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 有明区域

1. 目標

有明区域は、大牟田市、柳川市及びみやま市の3市から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は215,010人、高齢者人口は76,963人、高齢化率35.7%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保す

ることを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、有明区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 有明区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和 2 年度) 82,744 人 (対前年度比 3,477 人減)

(令和 3 年度) 85,937 人 (対前年度比 3,193 人増)

(令和 4 年度) 86,049 人 (対前年度比 112 人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 飯塚区域

1. 目標

飯塚区域は、飯塚市及び嘉麻市並びに嘉穂郡桂川町の2市1町から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は178,351人、高齢者人口は59,464人、高齢化率33.3%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、飯塚区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 飯塚区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和2年度) 82,744人(対前年度比 3,477人減)
(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)
(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、か

つ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 直方・鞍手区域

1. 目標

直方・鞍手区域は、直方市及び宮若市並びに鞍手郡小竹町及び鞍手町の2市2町から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は106,963人、高齢者人口は37,526人、高齢化率35%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、直方・鞍手区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和2年4月～令和6年3月

□ 直方・鞍手区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和2年度) 82,744人(対前年度比 3,477人減)
(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)
(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約

1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 田川区域

1. 目標

田川区域は、田川市並びに田川郡香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村及び福智町の 1 市 6 町 1 村から構成されており、令和 2 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 123,654 人、高齢者人口は 44,785 人、高齢化率 36.2%となっている。高齢化率は県内で最も高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、田川区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月

□ 田川区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 2 年度） 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）

(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)

(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 北九州区域

1. 目標

北九州区域は、政令指定都市である北九州市、及び中間市並びに遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町及び遠賀町の2市4町から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は1,080,131人、高齢者人口は336,858人、高齢化率31.1%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、北九州区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月

□ 北九州区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 2 年度） 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 京築区域

1. 目標

京築区域は、行橋市及び豊前市並びに京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町及び築上町の 2 市 5 町から構成されており、令和 2 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 130,521

人、高齢者人口は 42,065 人、高齢化率 32.2%となっている。高齢化率は県平均(27.4%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、京築域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 京築区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 2 年度）	82,744 人	（対前年度比 3,477 人減）
（令和 3 年度）	85,937 人	（対前年度比 3,193 人増）
（令和 4 年度）	86,049 人	（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の

改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

3. 事業の実施状況

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.2】 介護職をめざす学生による介護の魅力発信事業	【総事業費】 6,327 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和2年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設で介護福祉士をめざす学生によるイベント等での情報発信に対する支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和2年度：イベント等による広報：1回 令和3年度：イベント等による広報：1回 令和4年度：イベント等による広報：1回 令和5年度：イベント等による広報：1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和2年度 イベント1回開催、参加学生52人（オンライン開催） ○令和3年度 イベント1回開催、参加学生26人（オンライン開催1,192人視聴） ○令和4年度 ・介護の魅力を発信するプロジェクト 養成施設学生40人参加 ・会場イベント 動員数1,650人 ・オンライン ホームページアクセス数1,117、動画再生数379 動画リーチ数1,230、Facebook再生数222 Facebookリーチ数551 ○令和5年度 ・会場イベント開催（R5.10.7）：来場者数約2,000人・高校生へのDM個別配布・地域住民にチラシを配布・SNSを活用した広報	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：若者の感覚でイベント等を実施し、広報を行うことにより、介護を学ぶ高校新卒者を増やすなど、介護の仕事への若者の新規参入が促される。 観察できた→若者の感覚でのイベント等広報によって介護の仕事への若者への新規参入が促されている。 （1）事業の有効性 若者の感覚でのイベント等広報により介護の仕事への若者への新規参入が促されている。 （2）事業の効率性 ターゲットを高校生等の若年層に絞ることで、介護に関する情報を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.11】 外国人留学生等の参入促進事業	【総事業費】 12,170 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県	
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	人材確保につながる取組を行った介護福祉士養成施設に対して補助を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和 2 年度 補助事業実施養成施設：8 箇所／年 ○令和 3 年度 補助事業実施養成施設：11 箇所／年 ○令和 4 年度 補助事業実施養成施設：10 箇所／年 ○令和 5 年度 補助事業実施養成施設：9 箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和 2 年度：取組実施施設 7 箇所 ○令和 3 年度：取組実施施設 7 箇所 ○令和 4 年度：取組実施施設 8 箇所 ○令和 5 年度：取組実施施設 8 箇所	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設において、将来の介護現場を担う世代に対する介護の専門性や意義を伝達する取組や、今後増加することが予想される留学生への日本語学習支援等による質の高い人材の養成・確保に係る取組を推進する。 観察できた→介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。 （1）事業の有効性 介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。 （2）事業の効率性 介護に関する教育機関である介護福祉士養成施設において、人材の養成・確保に係る取組が推進されることにより、質の高い国内人材の確保や留学生の国内定着が期待できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.14】 外国人介護人材受け入れ施設環境整備事業	【総事業費】 4,282 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県	
事業の期間	令和 2 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30% に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れるための環境整備に要する経費の一部を助成	
アウトプット指標（当初の目標値）	○R2 年度 ・受入施設等に対する補助 83 施設／年 ○R3 年度 ・介護施設等に対する補助：74 箇所／年、養成施設に対する補助：6 箇所／年 ○R4 年度 ・介護施設等に対する補助：291 箇所／年、養成施設に対する補助：3 箇所／年 ○R5 年度 ・介護施設等に対する補助：210 箇所／年、養成施設に対する補助：4 箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	○R2 年度 ・受入施設等に対する補助 26 件 うち介護施設・事業所 24 件、介護福祉士養成施設 2 件 ○R3 年度 ・受入施設等に対する補助 11 件 うち介護施設・事業所 8 件、介護福祉士養成施設 3 件 ○R4 年度 ・受入施設等に対する補助 21 件 うち介護施設・事業所 18 件、介護福祉士養成施設 3 件 ○R5 年度 ・受入施設等に対する補助 33 件 うち介護施設・事業所 30 件、介護福祉士養成施設 3 件	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れた施設に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促す。 観察できた→外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことができた。 （1）事業の有効性 外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。 （2）事業の効率性 外国人介護人材の受け入れにあたって、コミュニケーションや文化・風習の違いによる不安、学習支援や生活支援のための体制が整備できない等の困難を抱える介護施設等を支援することで、外国人介護人材の就労と定着に繋げることができる。	
その他		

令和 3 年度福岡県計画に関する 事後評価

※介護従事者の確保に関する事業分のみ

令和 7 年 2 月

福岡県

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行った</p> <p>(実施状況)</p> <p>[令和3年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和5年1月17日～1月24日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p>[令和4年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和6年1月22日～2月2日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p>[令和5年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">令和7年2月14日～2月21日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p><input type="checkbox"/> 行わなかった</p> <p>(行わなかった場合、その理由)</p>
--

(2) 審議会等で指摘された主な内容

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p>[審議会等で指摘された主な内容]</p> <p>[令和3年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和5年1月24日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会(書面開催)) <p>[令和4年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和6年2月2日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会(書面開催)) <p>[令和5年度実施分]</p> <ul style="list-style-type: none">事務局案のとおり了承された。(令和7年2月21日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会(書面開催))
--

2. 目標の達成状況

■ 福岡県全体

1. 目標

福岡県においては、超高齢社会を迎えるにあたって、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を構築し、県民生活の「安定」、「安全」、「安心」を向上させるため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

・令和 8 年度の福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 福岡県全体（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 福岡・糸島区域

1. 目標

福岡・糸島区域は、政令指定都市である福岡市及び糸島市の 2 市から構成されており、令和 3 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 1,666,612 人、高齢者人口は 375,041 人、高齢化率 22.5%となっている。県内最大の人口を擁し、高齢化率は県平均（27.7%）と比較し低いものの、今後、急激な高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とす

る。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、福岡・糸島区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 福岡・糸島区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 粕屋区域

1. 目標

粕屋区域は、古賀市並びに粕屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、及び粕屋町の1市7町から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は294,967人、高齢者人口は70,281人、高齢化率23.8%となっている。高齢化率は県平均（27.7%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、粕屋区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 粕屋区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状

況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 宗像区域

1. 目標

宗像区域は、宗像市及び福津市の2市から構成されており、令和2年4月1日現在、圏域人口は163,352人、高齢者人口は46,817人、高齢化率28.6%となっている。高齢化率は県平均（27.4%）よりやや高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、宗像区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 宗像区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じ

ている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比 3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比 112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 筑紫区域

1. 目標

筑紫区域は、筑紫野市、春日市、大野城市及び太宰府市並びに那珂川市の5市から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は441,666人、高齢者人口は106,592人、高齢化率24.1%となっている。高齢化率は県平均（27.7%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、筑紫区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 筑紫区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6

年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 朝倉区域

1. 目標

朝倉区域は、朝倉市並びに朝倉郡筑前町及び東峰村の1市1町1村から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は83,873人、高齢者人口は28,065人、高齢化率33.5%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、朝倉区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 朝倉区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)

(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 久留米区域

1. 目標

久留米区域は、久留米市、大川市、小郡市及びうきは市並びに三井郡大刀洗町及び三潴郡大木町の4市2町から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は455,459人、高齢者人口は130,508人、高齢化率28.7%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、久留米区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 久留米区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 八女・筑後区域

1. 目標

八女・筑後区域は、八女市及び筑後市並びに八女郡広川町の 2 市 1 町から構成されており、令和 3 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 130,581 人、高齢者人口は 41,336 人、高齢化率 31.7%となっている。高齢化率は県平均（27.7%）より高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。こ

のため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、八女・筑後区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 八女・筑後区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

□ 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 有明区域

1. 目標

有明区域は、大牟田市、柳川市及びみやま市の 3 市から構成されており、令和 3 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 212,310 人、高齢者人口は 76,971 人、高齢化率 36.3%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、有明区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 有明区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対

前年度比 112 人増) と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 飯塚区域

1. 目標

飯塚区域は、飯塚市及び嘉麻市並びに嘉穂郡桂川町の 2 市 1 町から構成されており、令和 3 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 176,887 人、高齢者人口は 59,655 人、高齢化率 33.7% となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、飯塚区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 飯塚区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和 3 年度) 85,937 人 (対前年度比 3,193 人増)

(令和 4 年度) 86,049 人 (対前年度比 112 人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされている

が、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 直方・鞍手区域

1. 目標

直方・鞍手区域は、直方市及び宮若市並びに鞍手郡小竹町及び鞍手町の 2 市 2 町から構成されており、令和 3 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 105,795 人、高齢者人口は 37,453 人、高齢化率 35.4%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、直方・鞍手区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

直方・鞍手区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和3年度) 85,937人(対前年度比 3,193人増)

(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 田川区域

1. 目標

田川区域は、田川市並びに田川郡香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村及び福智町の1市6町1村から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は121,872人、高齢者人口は44,723人、高齢化率36.7%となっている。高齢化率は県内で最も高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、田

川区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 田川区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 北九州区域

1. 目標

北九州区域は、政令指定都市である北九州市、及び中間市並びに遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町及び遠賀町の2市4町から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は1,072,844人、高齢者人口は337,861人、高齢化率31.5%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、北九州区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 3 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 北九州区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 3 年度） 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 京築区域

1. 目標

京築区域は、行橋市及び豊前市並びに京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町及び築上町の2市5町から構成されており、令和3年4月1日現在、圏域人口は185,975人、高齢者人口は59,472人、高齢化率32.0%となっている。高齢化率は県平均(27.7%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、京築域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和3年4月～令和6年3月

□ 京築区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和3年度） 85,937人（対前年度比 3,193人増）

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状

況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

3. 事業の実施状況

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.3】 介護職をめざす学生による介護の魅力発信事業	【総事業費】 5,713 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和3年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設で介護福祉士をめざす学生によるイベント等での情報発信に対する支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和3年度：イベント等による広報：1回 令和4年度：イベント等による広報：1回 令和5年度：イベント等による広報：1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和3年度 イベント1回開催、参加学生26人（オンライン開催1,192人視聴） ○令和4年度 ・介護の魅力を発信するプロジェクト 養成施設学生40人参加 ・会場イベント 動員数1,650人 ・オンライン ホームページアクセス数1,117 動画再生数379 動画リーチ数1,230 Facebook再生数222 Facebookリーチ数551 ○令和5年度 ・会場イベント開催（R5.10.7）：来場者数約2,000人・高校生へのDM個別配布・地域住民にチラシを配布・SNSを活用した広報	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：若者の感覚でイベント等を実施し、広報を行うことにより、介護を学ぶ高校新卒者を増やすなど、介護の仕事への若者の新規参入が促される。 観察できた→若者の感覚でのイベント等広報によって介護の仕事への若者への新規参入が促されている。 （1）事業の有効性 若者の感覚でのイベント等広報により介護の仕事への若者への新規参入が促されている。 （2）事業の効率性 ターゲットを高校生等の若年層に絞ることで、介護に関する情報を効率的に伝えることができる。	
その他		

令和4年度福岡県計画に関する 事後評価

※介護従事者の確保に関する事業分のみ

令和7年2月

福岡県

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

○ 介護人材確保分

行った

(実施状況)

〔令和4年度実施分〕

- ・ 令和6年1月22日～2月2日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催)

〔令和5年度実施分〕

- ・ 令和7年2月14日～2月21日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催)

行わなかった

(行わなかった場合、その理由)

(2) 審議会等で指摘された主な内容

○ 介護人材確保分

〔審議会等で指摘された主な内容〕

〔令和4年度実施分〕

- ・ 事務局案のとおり了承された。(令和6年2月2日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会(書面開催))

〔令和5年度実施分〕

- ・ 事務局案のとおり了承された。(令和7年2月21日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会)(書面開催)

2. 目標の達成状況

■ 福岡県全体

1. 目標

福岡県においては、超高齢社会を迎えるにあっても、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を構築し、県民生活の「安定」、「安全」、「安心」を向上させるため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度の福岡県で必要となる介護人材 94,458人を確保する。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 福岡県全体（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 福岡・糸島区域

1. 目標

福岡・糸島区域は、政令指定都市である福岡市及び糸島市の2市から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は1,671,625人、高齢者人口は379,900人、高齢化率22.7%となっている。県内最大の人口を擁し、高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、急激な高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、福岡・糸島区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ **福岡・糸島区域（達成状況）**

1) 目標の達成状況

⑤ **介護従事者の確保に関する目標**

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ **介護従事者の確保に関する目標**

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ **粕屋区域**

1. 目標

粕屋区域は、古賀市並びに粕屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、及び粕屋町の 1 市 7 町から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 294,372 人、高齢者人口は 71,193 人、高齢化率 24.2%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、粕屋区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 粕屋区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 宗像区域

1. 目標

宗像区域は、宗像市及び福津市の 2 市から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域

人口は 165,016 人、高齢者人口は 48,076 人、高齢化率 29.1%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）よりやや高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、宗像区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 宗像区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 筑紫区域

1. 目標

筑紫区域は、筑紫野市、春日市、大野城市及び太宰府市並びに那珂川市の 5 市から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 442,212 人、高齢者人口は 108,125 人、高齢化率 24.5%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、筑紫区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 筑紫区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 4 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 朝倉区域

1. 目標

朝倉区域は、朝倉市並びに朝倉郡筑前町及び東峰村の 1 市 1 町 1 村から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 83,148 人、高齢者人口は 28,190 人、高齢化率 33.9%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、朝倉区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ **朝倉区域（達成状況）**

1) 目標の達成状況

⑤ **介護従事者の確保に関する目標**

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ **介護従事者の確保に関する目標**

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ **久留米区域**

1. 目標

久留米区域は、久留米市、大川市、小郡市及びうきは市並びに三井郡大刀洗町及び三潴郡大木町の 4 市 2 町から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 452,052 人、高齢者人口は 131,366 人、高齢化率 29.1%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、久留米区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 久留米区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 八女・筑後区域

1. 目標

八女・筑後区域は、八女市及び筑後市並びに八女郡広川町の 2 市 1 町から構成されてお

り、令和4年4月1日現在、圏域人口は129,780人、高齢者人口は41,541人、高齢化率32.0%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）より高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、八女・筑後区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 八女・筑後区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 有明区域

1. 目標

有明区域は、大牟田市、柳川市及びみやま市の3市から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は208,759人、高齢者人口は76,824人、高齢化率36.8%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、有明区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 有明区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人(対前年度比3,193人増)、令和4年度の介護職員数は86,049人(対前年度比112人増)と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、か

つ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 飯塚区域

1. 目標

飯塚区域は、飯塚市及び嘉麻市並びに嘉穂郡桂川町の2市1町から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は175,064人、高齢者人口は59,625人、高齢化率34.1%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、飯塚区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 飯塚区域(達成状況)

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

(令和4年度) 86,049人(対前年度比 112人増)

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(都道府県別)」(令和6年7月)による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人(対前年度比3,477人減)と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの

介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比 3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比 112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 直方・鞍手区域

1. 目標

直方・鞍手区域は、直方市及び宮若市並びに鞍手郡小竹町及び鞍手町の2市2町から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は105,200人、高齢者人口は37,253人、高齢化率35.4%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、直方・鞍手区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 直方・鞍手区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約

1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 田川区域

1. 目標

田川区域は、田川市並びに田川郡香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村及び福智町の 1 市 6 町 1 村から構成されており、令和 4 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 119,636 人、高齢者人口は 44,629 人、高齢化率 37.3%となっている。高齢化率は県内で最も高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、田川区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 田川区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 北九州区域

1. 目標

北九州区域は、政令指定都市である北九州市、及び中間市並びに遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町及び遠賀町の2市4町から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は1,063,348人、高齢者人口は337,470人、高齢化率31.7%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、北九州区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和4年4月～令和6年3月

□ 北九州区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和4年度） 86,049人（対前年度比 112人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和6年7月）による令和8年度の福岡県における介護人材の必要数は94,458人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成27年度における介護職員数74,279人から11年間累計で約20,000人、毎年度約1,800人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成27年度から令和元年度までの4年間累計で11,942人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和2年度の介護職員数は82,744人（対前年度比3,477人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和3年度の介護職員数は85,937人（対前年度比3,193人増）、令和4年度の介護職員数は86,049人（対前年度比112人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和6年5月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は3.14倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。

令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 京築区域

1. 目標

京築区域は、行橋市及び豊前市並びに京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町及び築上町の2市5町から構成されており、令和4年4月1日現在、圏域人口は184,189人、高齢者人口は59,444人、高齢化率32.3%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、京築域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 京築区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

（令和 4 年度） 86,049 人（対前年度比 112 人増）

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

国の「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数（都道府県別）」（令和 6 年 7 月）による令和 8 年度の福岡県における介護人材の必要数は 94,458 人とされているが、この必要数を満たすためには、県計画に基づく介護従事者の確保に関する事業を開始した平成 27 年度における介護職員数 74,279 人から 11 年間累計で約 20,000 人、毎年度約 1,800 人の介護職員の増を図る必要がある。福岡県における介護職員数は平成 27 年度から令和元年度までの 4 年間累計で 11,942 人増加するなど、目標に向けて順調に推移していたが、令和 2 年度の介護職員数は 82,744 人（対前年度比 3,477 人減）と減少に転じている。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、通所介護や訪問介護などの介護サービスの利用が一時的に控えられたことによるものと考えられ、令和 3 年度の介護職員数は 85,937 人（対前年度比 3,193 人増）、令和 4 年度の介護職員数は 86,049 人（対前年度比 112 人増）と再び増加に転じている。

一方で、令和 6 年 5 月の福岡県における介護職員の有効求人倍率は 3.14 倍に達し、かつ、全産業平均を大きく上回っている状況にあることから、介護人材確保に係る情勢は厳しい状況が続くと予想される。

このため、引き続き、介護人材の確保・定着促進に向け、参入の促進、労働環境・処遇の改善、資質の向上の各分野にわたって事業を実施していく必要がある。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

3. 事業の実施状況

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1】 介護人材確保・定着促進ネットワーク事業	【総事業費】 7,329 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	「福岡県介護人材確保・定着促進協議会」を設置するとともに、その中に2つの部会（参入促進部会、環境改善・人材育成部会）を設置	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和4年度 ・協議会：年2回開催 ・部会：年4回開催 令和5年度 ・協議会：年2回開催・部会：年4回開催	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・福岡県介護人材確保・定着促進協議会 2回開催（書面・集合） ・参入促進部会 2回開催（オンライン） ・環境改善・人材育成部会 2回開催（オンライン） ○令和5年度 ・福岡県介護人材確保・定着促進協議会 2回開催（書面・集合） ・参入促進部会 2回開催（オンライン） ・環境改善・人材育成部会 2回開催（オンライン）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の事業者団体等の関係団体で構成する協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進される。 観察できた→本事業により福岡県介護人材確保・定着促進協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進されている。 （1）事業の有効性 本事業により福岡県介護人材確保・定着促進協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進されている。 （2）事業の効率性 介護関係団体が一堂に会することで取組について全体として効率的に取り組むことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.2】 福祉人財共働ワーキング事業	【総事業費】 6,588 千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	福岡市に「福祉人財共働ワーキング」を設置し、市内における介護職員の現状・課題を把握するとともに、課題の改善に向けた具体的な対策を検討	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和4年度：ワーキング：年5回開催 令和5年度：ワーキング：年5回開催	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 福祉人財共働ワーキング：3回開催 ○令和5年度 福祉人財共働ワーキング：3回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：福岡市に「福祉人財共働ワーキング」を設置し、市内における介護職員の現状・課題を把握するとともに、課題の改善に向けた具体的な対策を検討することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できるよう介護人材確保の基盤を構築する。 観察できた→本事業を実施することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。 （1）事業の有効性 本事業を実施することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。 （2）事業の効率性 本事業を実施することで、地域における課題の検討を行うことができ、効率的かつ効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.3】 介護職をめざす学生による介護の魅力発信事業	【総事業費】 7,571 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設で介護福祉士をめざす学生によるイベント等での情報発信	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和4年度：イベント等による広報：1回 令和5年度：イベント等による広報：1回	
アウトプット指標（達成値）	<p>○令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の魅力を発信するプロジェクト 養成施設学生40人参加 ・会場イベント 動員数1,650人 ・オンライン ホームページアクセス数 1,117 動画再生数 379 動画リーチ数 1,230 Facebook再生数 222 Facebookリーチ数 551 <p>○令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場イベント開催（R5.10.7）：来場者数 約2,000人 ・高校生へのDM個別配布 ・地域住民にチラシを配布 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：若者の感覚でイベント等を実施し、広報を行うことにより、介護を学ぶ高校新卒者を増やすなど、介護の仕事への若者の新規参入が促される。 観察できた→若者の感覚でのイベント等広報によって介護の仕事への若者への新規参入が促されている。</p> <p>（1）事業の有効性 若者の感覚でのイベント等広報により介護の仕事への若者への新規参入が促されている。</p> <p>（2）事業の効率性 ターゲットを高校生等の若年層に絞ることで、介護に関する情報を効率的に伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.4】 地域住民向け介護体験講座	【総事業費】 3,500 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	主婦層、退職者、転職を希望する者、失業者及び就職を控えた子を持つ保護者等に対し介護職の魅力を伝える介護体験講座の開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内全域 4会場で4回実施/年 ○令和5年度 県内全域 4会場で4回実施/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 地域住民向け介護体験講座 8回開催 ○令和5年度 地域住民向け介護体験講座 8回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民のうち、主婦層、退職者、転職希望者等が、介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持ち、介護の仕事の重要性を再認識し、資格取得や就労につながる。 観察できた→地域住民が介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持つことができている。 （1）事業の有効性 地域住民が介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持つことができている。 （2）事業の効率性 地域住民に介護職の知識を体験講座により直接伝えることで、効率的に介護職の正しい知識と技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.5】 介護の魅力を発信する介護講座	【総事業費】 13,678 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内全域において、介護の3つの魅力（「楽しさ」「広さ」「深さ」）を発信するために座談形式のセミナー、介護講座の開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内全域でセミナー・介護講座実施 88回/年 ○令和5年度 県内全域でセミナー・介護講座実施 88回/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 セミナー・介護講座実施 97回 ○令和5年度 セミナー・介護講座実施 90回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内でも高齢化が進み介護ニーズが増加する一方で、人材参入が進まない八女・筑後・有明地域等の県南地域で、介護職の魅力を紹介し、介護人材の参入が促進される。 観察できた→人材参入が進まない県南地域でセミナーを開催することで介護人材の参入が促進されている。 （1）事業の有効性 人材参入が進まない県南地域でセミナーを開催することで介護人材の参入が促進されている。 （2）事業の効率性 県南地域でセミナーを直接開催することで効率的に介護の魅力を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.6】 介護の魅力を発信する地域別ミニイベント事業	【総事業費】 5,042 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域住民（特に元気高齢者、子育てが終わった世代等）を対象とした『介護の3つの魅力を発信するDVD』上映やドラマワーク等の体験型イベント開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内4箇所でイベント実施 4回/年 ○令和5年度 県内4箇所でイベント実施 4回/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 地域別ミニイベント：4回開催（4地区） ○令和5年度 地域別ミニイベント：5回開催（4地区）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民（特に元気高齢者、子育てが終わった世代等）を対象として『介護の3つの魅力を発信するDVD』上映やドラマワーク等の体験型イベント開催することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進する。 観察できた→本事業を実施することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進している。 （1）事業の有効性 本事業を実施することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進している。 （2）事業の効率性 各地域でセミナーを直接開催することで効率的に介護の魅力を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.7】 世界アルツハイマーデー啓発事業	【総事業費】 1,224 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人認知症の人と家族の会福岡県支部	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症に対する理解促進のためアルツハイマーデー記念日に合わせて講演会及び街頭活動を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内全域で、啓発活動、街頭活動の実施 年1回 ○令和5年度 県内全域で、啓発活動、街頭活動の実施 年1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 （1）2022年世界アルツハイマーデー記念講演会 於福岡市 88人参加 （2）街頭活動 ○令和5年度 （1）2023年世界アルツハイマーデー記念講演会 於福岡市 75人参加 （2）街頭活動	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：家族に認知症の人を持つ方が、実体験に基づき、認知症の人を支える助け合いの精神の必要性を周知することで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まる。 観察できた→ 記念講演会や街頭活動を行うことで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まっている。 （1）事業の有効性 記念講演会や街頭活動を行うことで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まっている。 （2）事業の効率性 記念講演会や街頭活動を行うことで、認知症に対する知識を効率的に伝えている。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.8】 介護業務の普及・啓発大会事業	【総事業費】 15,477 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護業務の普及・啓発に資する大会を開催 ・基調講演 ・ケアコンテスト ・認知症介護事例発表 ・明るい職場のビデオレター 等	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 観覧者 500名/年 ○令和5年度 観覧者 500名/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 福岡県介護業務普及・啓発大会 ・当日参加者延べ人数 970人 ○令和5年度 福岡県介護業務普及・啓発大会 ・当日参加者延べ人数 756人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員が誇りと意欲を持って働くことができる介護現場の実現を目指すとともに、県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まる。 観察できた→県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まっている。 （1）事業の有効性 県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まっている。 （2）事業の効率性 当日観覧者に介護に関する情報を提供することで効率的な情報伝達を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.10】 「介護の仕事」理解促進事業	【総事業費】 15,620 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	小学生、中学生、高校生等を対象として、「介護の仕事」を正しく理解してもらうための高齢者ふれあい体験や施設見学、就業体験を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 小学生：県内4地区 年1回、中学生、高校生：県内4地区 年2回 ○令和5年度 小学生：県内4地区 年1回、中学生、高校生：県内4地区 年2回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・会場実施型：小学生・年4回、中学生・年6回、高校生・年11回 ・学校訪問型：小学生・年1回、中学生・年2回、高校生・年1回 ○令和5年度 ・会場実施型：中学生・年9回、高校生・年5回 ・学校訪問型：小学生・年2回、中学生・年2回、高校生・年3回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場を正しく理解することにより、将来を担う若者が介護の仕事について関心を持ち、介護の仕事に対する正しい理解を得ることで、若者の新規参入が促される。 観察できた→将来を担う若者が介護に対する正しい知識と理解を得ることで介護の仕事に関心を持つことができている。 （1）事業の有効性 将来を担う若者が介護に対する正しい知識と理解を得ることで介護の仕事に関心を持つことができている。 （2）事業の効率性 将来を担う若者に介護の仕事に対する正しい理解を促すことで、効率的に介護の仕事の正しい知識を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.11】 中学生・高校生に対する介護施設等へのインターンシップ事業	【総事業費】 1,553 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	中学校及び高校のインターンシップ促進のため、受入れ可能な介護施設の情報をホームページに掲載して情報発信を行う	
アウトプット指標（当初の目標値）	インターンシップ受入れ可能な介護施設情報のホームページ掲載	
アウトプット指標（達成値）	ホームページ掲載数 令和4年度：受入可能施設・事業所 145 箇所 令和5年度：受入れ可能な施設等 176 事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：受入可能施設・事業所の情報を提示することによりインターンシップを促進し、中学生及び高校生の職業の選択肢として、介護を選択する動機付けが行われる。 観察できた→介護を行う施設・事業所における中学生・高校生のインターンシップが促進されている。 （1）事業の有効性 介護を行う施設・事業所における中学生・高校生のインターンシップが促進されている。 （2）事業の効率性 受入可能施設・事業所の情報をホームページに掲載することにより、中学・高校の教員がインターンシップを行う際のアクセスが容易になる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.12】 単位老人クラブ活動支援事業	【総事業費】 901 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	久留米市、豊前市、筑紫野市、岡垣町	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	単位老人クラブに対する各種書類の作成、事務効率化及び事務負担の軽減につながる助言等の支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 支援する老人クラブ 6か所 ○令和5年度 支援する老人クラブ 6か所	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・書類作成等に係る支援：2市で実施 ・課題等の聞き取り、助言：1市で実施 ○令和5年度 ・書類作成等に係る支援：3市で実施 ・課題等の聞き取り、助言：1市で実施	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各クラブでの活動状況や課題等の聞き取りを行い、必要な助言を行うことで事務負担の軽減に繋げる。 観察できた→本事業の実施により事務負担の軽減が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により事務負担の軽減が図られている。 （2）事業の効率性 事務負担軽減及び書類作成等に係る支援や助言等を行うことで事務効率化を図ることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.13】 高齢者支援ボランティアポイントモデル事業	【総事業費】 1,979 千円
事業の対象となる区域	八女・筑後	
事業の実施主体	大川市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	高齢者の生活支援・介護予防事業のスタッフやチームオレンジとして活動した者に対し、回数に応じてボランティアポイントを付与する事業を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ボランティア等活動人数：300人（延べ7,200回） ○令和5年度 ボランティア等活動人数：300人（延べ7,200回）	
アウトプット指標（達成値）	○令和5年度 ・ボランティア登録者数 67人 ・ポイント交換申請者 50人（年5回以上の活動実績） ○令和6年度 ・ボランティア登録者数 58人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢者の生活支援・介護予防事業のスタッフやチームオレンジとして活動した者に対し、回数に応じてボランティアポイントを付与してポイント交換交付金を交付することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進する。 観察できた→本事業を実施することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進している。 （1）事業の有効性 本事業を実施することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進している。 （2）事業の効率性 本事業で地域における助け合いの活動にインセンティブを付与することで、介護分野での社会参加・就労的活動を効率的に推進している。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.14】 介護人材養成・就職支援事業	【総事業費】 61,035 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	福祉人材センターに就職支援専門員と介護人材開拓員を配置し、「福岡県70歳現役応援センター」とも連携して、就職支援、介護に関する入門的研修と職業紹介の一体的な実施、離職した介護福祉士の届出制度を活用した再就職の促進を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 職業紹介による介護職就業者数 125人 ○令和5年度 職業紹介による介護職就業者数 125人	
アウトプット指標（達成値）	就職者数 R4:104人 R5:103人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介、離職した介護福祉士届出制度による再就職の促進などにより、厳しい状況にある介護人材確保を改善する。 観察できた→就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介などにより、介護現場への就職につながっている。 （1）事業の有効性 就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介などにより、介護現場への就職につながっている。 （2）事業の効率性 福祉人材センターに就職支援専門員を配置し、研修や職業紹介などを一体的に実施することにより、効率的に就職支援を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.15】 介護職チームケア実践力向上推進事業	【総事業費】 51,914 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業、一部県内介護事業所に補助）、福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	以下①～③の取組を実施するモデル施設・事業所を選定し、取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うとともに、取組成果の全県下への横展開を図る。 ①介護助手等多様な人材の雇用、OJT等による育成 ②外部コンサルタント等の助言を得ながら、リーダー的人材の育成、チームケアの実践等の取組 ③一連の実践を踏まえ効果、改善点の検証	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・モデル施設・事業所数：4箇所 ・成果報告会：年1回 ○令和5年度 ・モデル施設・事業所数：4箇所 ・成果報告会：年1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・モデル施設へのコンサルタント（県委託）：4事業所（4地区） ・外部コンサルを受けながら実践するチームケア事業に対する補助：4事業所（4地区） ・訪問介護業務効率化支援：9事業所（福岡市） ○令和5年度 ○モデル施設へのコンサルタント（県委託） 4事業所（4地区） ○外部コンサルを受けながら実践するチームケア事業に対する補助 4事業所（4地区） ○訪問介護業務効率化支援 8事業所（福岡市）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護に関する専門的知識・技術がなくても行える業務（周辺業務）に従事できるよう、介護助手等多様な人材の雇用、OJT等による育成を行う施設等を選定し、取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うことで、多様な人材の介護分野への参入促進を図る。 観察できた→本事業を実施することで、多様な人材の介護分野への参入が促されている。 （1）事業の有効性 本事業を実施することで、多様な人材の介護分野への参入が促されている。 （2）事業の効率性 介護に関する専門的知識・技術がなくても行える周辺業務に従事する多様な人材を採用し、育成する取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うことで、効率的に多様な人材の介護分野への参入を促すことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.16】 外国人留学生等の参入促進事業	【総事業費】 26,202 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護福祉士養成施設に補助）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	国内人材の確保に関する取組、及び留学生の国内定着に関する取組を行った介護福祉士養成施設に対して補助を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 補助事業実施養成施設：10箇所／年 ○令和5年度 補助事業実施養成施設：9箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 取組実施施設 8箇所 ○令和5年度 取組実施施設 8箇所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設において、将来の介護現場を担う世代に対する介護の専門性や意義を伝達する取組や、今後増加することが予想される留学生への日本語学習支援等による質の高い人材の養成・確保に係る取組を推進する。 観察できた→介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。 （1）事業の有効性 介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。 （2）事業の効率性 介護に関する教育機関である介護福祉士養成施設において、人材の養成・確保に係る取組が推進されることにより、質の高い国内人材の確保や留学生の国内定着が期待できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.17】 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給に係る支援事業	【総事業費】 125,360 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県が県内の介護施設等に、当該介護施設等が介護福祉士資格の取得を目指す留学生に対して行う奨学金等の一部を補助する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 支援対象留学生：132人／年 ○令和5年度 支援対象留学生：186人／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 補助対象留学生 127人 ○令和5年度 補助対象留学生 86人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士資格の取得を目指す意欲ある留学生の就学期間中の支援を図り、将来当該留学生を介護専門職として雇用しようとする介護施設等の負担を軽減するため、当該介護施設等が行う奨学金等の一部助成することで、県内の介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内の介護施設・事業所への就職を促し、介護人材の参入を促進する。 観察できた→介護施設等が留学生に対して行う奨学金等の一部助成することにより、県内養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設・事業所への就職が促されている。 （1）事業の有効性 介護施設等が留学生に対して行う奨学金等の一部助成することにより、県内養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設・事業所への就職が促されている。 （2）事業の効率性 意欲のある留学生を養成施設における就学期間中から支援することにより、将来の介護人材としての参入をより効果的に促進することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.18】 介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生 マッチング支援体制構築事業	【総事業費】 20,269 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	資格取得を目指す留学生を確保するため、県が実施主体となって「マッチング支援団体」に委託し、県内養成施設に留学させ、県内介護施設等に就職するまでのマッチングを一元的に行い、円滑な受入支援体制を構築する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 留学生マッチング件数：5件／年 ○令和5年度 留学生マッチング件数：50件／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 マッチングした留学生 4人 ○令和5年度 マッチングした留学生 13人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：入国まで継続して支援を行うことにより、留学生の円滑な受入体制を構築し、介護人材の参入促進を図る。 観察できた→入国まで継続して支援を行うことにより、留学生が辞退することなく、円滑な受入体制を構築することができた。 （1）事業の有効性 入国まで継続して支援を行うことにより、留学生が辞退することなく、円滑な受入体制を構築することができた。 （2）事業の効率性 適切なマッチング支援を一元的に行うことにより、留学生の受入を円滑に進めることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.19】 外国人介護人材受入支援モデル事業	【総事業費】 12,773 千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設・事業所に対する外国人介護人材受入の土台作りのための研修、セミナー及びマッチング支援のためのイベント等	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 介護事業所向けセミナーからマッチングまでの一体的イベント 1回/年 ○令和5年度 介護事業所向けセミナーからマッチングまでの一体的イベント 1回/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・外国人留学生と介護事業所とのマッチング等支援説明会 計3回開催、参加実人数 12名 ○令和5年度 ・外国人留学生と介護事業所とのマッチング等支援説明会 計18回開催、参加実人数 55名・外国人留学生と介護事業所とのマッチング等支援説明会 計18回開催、参加実人数 55名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生の受入れ支援を実施することにより、介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の介護施設等への就職を支援し、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促す。 観察できた→介護事業所との距離が近い市町村の目線で外国人留学生の受け入れ支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。 （1）事業の有効性 介護事業所との距離が近い市町村の目線で外国人留学生の受け入れ支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。 （2）事業の効率性 資格取得を目指す留学生を確保するため受入に当たっての土台作りとして、介護施設・事業所に対する研修やセミナー等を行い、マッチングまで一体的に繋げる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.22】 訪問型の生活支援サービス従事者養成研修事業	【総事業費】 11,039 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域支援事業の総合事業として実施する要支援者等に対する訪問型の生活支援サービスを提供する担い手の育成研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内4地区で実施 200人養成 ○令和5年度 県内4地区で実施 200人養成	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 対象：総合事業でのA型（基準緩和型）事業所で働く予定がある人 7開催：73人参加 ○令和5年度 対象：総合事業でのA型（基準緩和型）事業所で働く予定がある人 5開催：37人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：総合事業を全市町村で円滑に導入するために、訪問型の生活支援サービスを提供する担い手が育成される。 観察できた→本事業の実施により総合事業を導入するための訪問型の生活支援サービスの担い手が育成されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により総合事業を導入するための訪問型の生活支援サービスの担い手が育成されている。 （2）事業の効率性 県内6会場で開催することにより幅広い地域の対象者を効率的に育成できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.23】 介護職員技術向上研修事業	【総事業費】 50,008 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職のキャリア段階（1年未満の者、2～3年未満の者、4～8年未満の者）に応じた研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・勤続年数1年未満対象研修受講者数：700人／年 ・勤続年数2～3年未満対象研修受講者数：800人／年 ・勤続年数4～8年未満対象研修受講者数：1200人／年 ○令和5年度 ・勤続年数1年未満対象研修受講者数：700人／年 ・勤続年数2～3年未満対象研修受講者数：800人／年 ・勤続年数4～8年未満対象研修受講者数：1200人／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 県内4地区（福岡・北九州・筑豊・筑後）で実施 ①技術向上研修Ⅰ 176人参加 ②技術向上研修Ⅱ 217人参加 ③技術向上研修Ⅲ 235人参加 ○令和5年度 県内4地区（福岡・北九州・筑豊・筑後）で実施 ①技術向上研修Ⅰ 223人参加 ②技術向上研修Ⅱ 360人参加 ③技術向上研修Ⅲ 357人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職のキャリア段階に応じて、それぞれの段階で直面する課題を解決するための知識や技術の修得を図り、資質向上と職場での定着が図られる。 観察できた→介護職のキャリア段階に応じて研修を実施することで資質の向上と職場での定着が図られている。 （1）事業の有効性 介護職のキャリア段階に応じて研修を実施することで資質の向上と職場での定着が図られている。 （2）事業の効率性 介護職のキャリア段階に応じて研修を行うことで効率的に知識や技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.24】 介護施設等における看取り研修事業	【総事業費】 1,212 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県看護協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設等の看護師が多職種と協働しながら「看取りケア」、看取り支援を行うことができるよう研修を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・研修開催2回／年 ・受講者100人／年 ○令和5年度 ・研修開催2回／年 ・受講者100人／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修開催 1回 受講者 64人 ○令和5年度 研修開催 1回 受講者 94人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護施設等における看護職が、看取り期にある本人・家族に対して、その意思を尊重しながら、安らかに最後を迎えられるための支援が行われる。 観察できた→本事業を行うことで介護施設等における看護職による支援が行われている。 （1）事業の有効性 本事業を行うことで介護施設等における看護職による支援が行われている。 （2）事業の効率性 介護施設等における看護職に対して直接研修を行うことで効率的な看取りに関する情報を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.25】 小規模事業所連携体制の構築支援事業	【総事業費】 11,777 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	複数の小規模事業所でユニットを構成し、連携・協力して、職員交流会を開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 形成ユニット・参加者数（年度）：各20ユニット・300人 ○令和5年度 形成ユニット・参加者数（年度）：各20ユニット・300人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・職員交流会 18ユニット116人参加 ○令和5年度 ・職員交流会 18ユニット137人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：複数の事業所が連携・協力し、働きやすい職場づくり、人材育成を行うことにより、規模が小さいほど多い傾向にある離職が改善される。 観察できた→複数の小規模事業所が連携・協力し人材育成を行うことで離職が改善されている。 （1）事業の有効性 複数の小規模事業所が連携・協力し人材育成を行うことで離職が改善されている。 （2）事業の効率性 複数の小規模事業所が連携することで単独で行うよりも効率的な人材育成が可能である。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.26】 介護職員等喀痰吸引等研修事業	【総事業費】 3,515 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	喀痰吸引等研修の講師を養成する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 養成人数 200人 ○令和5年度 養成人数 200人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 養成人数 79人 ○令和5年度 養成人数 93人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢化の進行による医療ニーズの増大に対応するため、たんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成される。 観察できた→本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成されている。 （2）事業の効率性 本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師を効率的に養成することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.27】 介護業務における介護職員の腰痛予防研修事業	【総事業費】 977 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県理学療法士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内4地区で、理学療法士が介護施設及び訪問介護事業所で稼働する介護職員を対象に、腰痛予防の知識や腰痛予防体操によって、介護業務における腰部の過重な負担の軽減を図る研修会を実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 研修回数：県内全域を対象に1回 ○令和5年度 研修回数：県内全域を対象に1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修会の開催：2回 ○令和5年度 研修会の開催：2回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内全域を対象として理学療法士が介護施設及び訪問介護事業所で稼働する介護職員に対する研修会を実施することで、介護業務における腰部の過重な負担の軽減を図る。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 理学療法士が研修講師を務めることで専門的な知識を介護職員に効率的に伝える。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.28】 訪問介護サービス提供責任者就任前等研修事業	【総事業費】 3,972 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内全域を対象に、就任前または就任後1年未満のサービス提供責任者を対象として研修会を実施する。なお研修は日本ホームヘルパー協会が標準として提示したサービス提供責任者就任前研修カリキュラムに準拠して実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 研修回数：県内全域を対象に1回 ○令和5年度 研修回数：県内全域を対象に1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修会の開催：1回 ○令和5年度 研修会の開催：1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：就任前または就任後1年未満のサービス提供責任者を対象として研修会を実施することにより介護人材の定着に資する。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 就任前または就任後1年未満のサービス提供者を対象を絞ることで研修を通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.29】 介護福祉士を対象としたチームリーダー養成研修事業	【総事業費】 3,373 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士を対象に研修を実施し、自らの成長課題とチームの課題を認識し、解決に取り組む意欲を高めるとともにリーダーとしての悩みを相談し合える人脈を得る機会を作る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 研修開催：1回（延べ3日間） ○令和5年度 研修開催：1回（延べ3日間）	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修：1回開催 ○令和5年度 研修：1回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、「介護職チーム内のサービスをマネジメントする役割」に関する自らの成長課題とチームの課題を認識し、解決に取り組む意欲を高めるとともに、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることにより、資質の向上と介護人材の定着を図る。 観察できた→介護現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、課題解決に取り組む意欲を高め、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることができている。 （1）事業の有効性 介護現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、課題解決に取り組む意欲を高め、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることができている。 （2）事業の効率性 介護福祉士を対象とすることにより、現場リーダーの養成と人脈づくりを効率的に行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.30】 e-ラーニングを活用した人材育成事業	【総事業費】 5,308 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県老人福祉施設協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	人材不足等の原因により研修に参加できない介護職員が広く閲覧できるよう、リーダーを育成するための研修をインターネット上に公開する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 研修2講座をオンライン公開 ○令和5年度 研修2講座をオンライン公開	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修動画 12テーマ34本作成・公開 ○令和5年度 研修動画 8テーマ20本作成・公開	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成し、介護職員に広く研修機会を提供し、資質の向上と介護人材の定着を図る。 観察できた→介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成することにより、介護職員に広く研修機会を提供することができている。 （1）事業の有効性 介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成し、介護職員に広く研修機会を提供することにより、資質の向上と介護人材の定着を促すことができている。 （2）事業の効率性 介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対する研修機会の提供を効率的に行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.31】 介護支援専門員資質向上研修事業	【総事業費】 11,917 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護支援専門員の法定研修のほか、コンプライアンス研修（制度改正への対応）、主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修、事業所別研修会（介護支援の種別に応じたケアマネジメントスキルの向上）の開催。	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域を対象に、以下の研修を実施 ○令和4年度 ①コンプライアンス研修：4回/年 ②主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修：8回/年 ③事業所別研修：48回/年 ○令和5年度 ①コンプライアンス研修：4回/年 ②主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修：8回/年 ③事業所別研修：48回/年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・主任ケアマネフォローアップ研修:2回 ・コンプライアンス研修:4回 ・事業所別研修:38回 ○令和5年度 ・主任ケアマネフォローアップ研修:4回 ・コンプライアンス研修:4回 ・事業所別研修:32回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：国の法定研修ではカバーできない内容について研修を実施し、介護支援専門員の資質向上が図られる。 観察できた→本事業の実施により介護支援専門員の資質向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により介護支援専門員の資質向上が図られている。 （2）事業の効率性 研修の種別によって研修の開催回数を変えることで効率的に研修を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.32】 ケアプラン作成技術向上事業	【総事業費】 242 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	実務に従事する介護支援専門員の資質向上のために、ケアプラン作成技術向上アドバイザー（ケアプラン点検指導者）を養成し、居宅介護支援事業所等へ派遣する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ①ケアプラン点検指導者の養成研修：年1回 ②ケアプラン点検指導者の派遣：年48回 ○令和5年度 ①ケアプラン点検指導者の養成研修：年1回 ②ケアプラン点検指導者の派遣：年48回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ①ケアプラン点検指導者の養成：1回 ②ケアプラン点検指導者の派遣：2回 ③ケアプラン作成技術向上委員会：4回 ○令和5年度 ①ケアプラン点検指導者の派遣：2回 ②ケアプラン作成技術向上委員：1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：サービス利用者の自立支援につながるケアプランを作成できるよう、介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上する。 観察できた→本事業によって介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上している。 （1）事業の有効性 本事業によって介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上している。 （2）事業の効率性 実務に従事する介護支援専門員に研修を実施することで効率的に介護支援専門員に対してケアプラン作成技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.33】 潜在介護福祉士向け就労支援セミナー事業	【総事業費】 7,446 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	潜在介護福祉士に対して、介護現場から離れていたことへの不安感を払拭するための就労支援セミナーを実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 研修実施：2回／年 ○令和5年度 研修実施：2回／年	
アウトプット指標（達成値）	潜在介護福祉士向け就労支援セミナー 県内2地区各1回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の仕事に従事していない介護福祉士の資格を有する登録者を対象に再就職支援を行い、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られる。 観察できた→本事業の実施により、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られている。 （2）事業の効率性 潜在介護福祉士に対して就労支援セミナーを実施することで効率的に介護福祉士の確保ができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.34】 かかりつけ医認知症対応力向上研修	【総事業費】 6,282 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	かかりつけ医の認知症ケアに関する知識や技術、また、認知症の各段階での適切な対応方法の修得を目的とした研修の実施 【カリキュラム】 ・認知症に関する基礎知識 ・認知症の診断 ・認知症の治療とケア ・関係機関との連携	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加人数 ○令和4年度 県：180人、北九州市：80人、福岡市：50人 ○令和5年度 県：180人、北九州市：80人、福岡市：50人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 かかりつけ医認知症対応力向上研修 参加者 419人 ○令和5年度 かかりつけ医認知症対応力向上研修 参加者 298人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。 観察できた→本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （2）事業の効率性 認知症患者と接することの多い医療・介護従事者に研修を行うことによって効率的に認知症患者等に適切な対応ができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.35】 かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修	【総事業費】 8,414 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県医師会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症の早期症状に関する基礎知識の修得等、かかりつけ医に対する認知症対応力向上のためのフォローアップ研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修受講者 ○令和4年度 1000人 ○令和5年度 1000人	
アウトプット指標（達成値）	かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修 ○令和4年度 参加者 646人 ○令和5年度 参加者 1,127人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。 観察できた→本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （2）事業の効率性 認知症患者と接することの多い医療・介護従事者に研修を行うことによって効率的に認知症患者等に適切な対応ができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.36】 認知症サポート医養成等研修事業	【総事業費】 4,936 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修として、認知症サポート医の養成及びフォローアップの研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 （1）認知症サポート医養成研修受講者数：57人 県：45人、北九州市：8人、福岡市：4人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修受講者数：215人 県：117人、北九州市：58人、福岡市：40人 ○令和5年度 （1）認知症サポート医養成研修受講者数：57人 県：45人、北九州市：8人、福岡市：4人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修受講者数：215人 県：117人、北九州市：58人、福岡市：40人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 （1）認知症サポート医養成研修 参加者（県）22人（政令市）8人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修 参加者 274人 ○令和5年度 （1）認知症サポート医養成研修 参加者（県）22人（政令市）8人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修 参加者 271人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症サポート医の養成とフォローアップを行うことにより、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制が構築される。 観察できた→本事業の実施により医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築が図られている。 （2）事業の効率性 認知症サポート医に研修を行うことで各地域において効率的に認知症の人への支援体制を構築することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.37】 認知症初期集中支援チーム設置促進事業	【総事業費】 2,694 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ①認知症初期集中支援チーム員の研修 ②認知症支援体制構築促進のための研修 ○令和5年度 ①認知症初期集中支援チーム員の研修 ②認知症支援体制構築促進のための研修	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ①認知症初期集中支援チーム員の研修 参加者 50人 ②認知症支援体制構築促進のための研修 ※開催中止 ○令和5年度 ①認知症初期集中支援チーム員の研修 参加者 57人 ②認知症支援体制構築促進のための研修 参加者 101人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各市町村における支援チームの設置の促進が図られる。 観察できた→本事業の実施により、各市町村における支援チームの設置を促進している。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、各市町村における支援チームの設置を促進している。 （2）事業の効率性 市町村職員を対象にすることで効率的に、各市町村における支援チームの設置を促進できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.38】 医療従事者認知症対応力向上等研修事業	【総事業費】 11,468 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	医療従事者の認知症対応力向上を図るための研修を実施。 ①歯科医師、②薬剤師、③看護職員、④病院勤務の医師等の医療従事者、⑤3職種合同	
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>研修参加人数</p> <p>○令和4年度</p> <p>①歯科医師：(県)200人、(北九州市)50人、(福岡市)100人</p> <p>②薬剤師：(県)200人、(北九州市)50人、(福岡市)100人</p> <p>③看護職員：(県)230人</p> <p>④病院勤務の医師等の医療従事者：(県)200人、(北九州市)100人、(福岡市)100人</p> <p>⑤3職種合同：(県)200人</p> <p>○令和5年度</p> <p>①歯科医師：(県)200人、(北九州市)50人、(福岡市)100人</p> <p>②薬剤師：(県)200人、(北九州市)50人、(福岡市)100人</p> <p>③看護職員：(県)230人</p> <p>④病院勤務の医師等の医療</p>	
アウトプット指標（達成値）	<p>○令和4年度</p> <p>①歯科医師 (県) 48人、(政令市) 31人</p> <p>②薬剤師 (県) 361人、(政令市) 63人</p> <p>③看護職員 112人</p> <p>④病院勤務の医師等の医療従事者 (県) ※開催中止、(政令市) 38人</p> <p>○令和5年度</p> <p>①歯科医師 (県) 65人、(政令市) 21人</p> <p>②薬剤師 (県) 323人、(政令市) 57人</p> <p>③看護職員 116人</p> <p>④病院勤務の医師等の医療従事者 (県) 54人、(政令市) 42人</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：医療従事者の認知症対応力向上を図り、各種施策を総合的に推進していくことで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりが推進される。</p> <p>観察できた→本事業の実施により、医療従事者の認知症対応力向上を図ることで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。</p> <p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、医療従事者の認知症対応力向上を図ることで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。</p> <p>(2) 事業の効率性 医療従事者に研修を行うことで効率的に、認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.39】 認知症介護研修事業	【総事業費】 60,689 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施、また、認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得させるための研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	<p>研修参加人数</p> <p>○令和4年度</p> <p>①認知症介護指導者フォローアップ研修：5人 ②認知症対応型サービス事業開設者研修：116人 ③認知症対応型サービス事業管理者研修：345人 ④小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修：136人 ⑤認知症介護基礎研修：450人</p> <p>○令和5年度</p> <p>①認知症介護指導者フォローアップ研修：5人 ②認知症対応型サービス事業開設者研修：116人 ③認知症対応型サービス事業管理者研修：345人 ④小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修：136人 ⑤認知症介護基礎研修：450人</p>	
アウトプット指標（達成値）	<p>○令和4年度</p> <p>・福岡県 各研修合計 194人参加 ・政令市（北九州市・福岡市） 各研修合計 185人参加</p> <p>○令和5年度</p> <p>・福岡県 各研修合計 329人参加 ・政令市（北九州市・福岡市） 各研修合計 182人参加</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実が図られる。</p> <p>観察できた→本事業の実施により、認知症介護技術の向上が図られている。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業の実施により、認知症介護技術の向上が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に研修を行うことで、効率的に認知症介護技術の向上を図ることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.40】 施設系サービス従事者認知症対応力向上研修 事業	【総事業費】 10,044 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	施設系サービスの介護従事者に対して、行動・心理症状や失認・失行に対する理解と対応を学習することを目的とした研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催 ○令和4年度 県内4地区で各1回 ○令和5年度 県内4地区で各1回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 対象：施設系サービス介護従事者 研修：6回開催 計227人参加 ○令和5年度 対象：施設系サービス介護従事者 研修：6回開催 計301参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険の施設系サービスの介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。 観察できた→本事業の実施により、施設系サービス介護従事者が認知症の本人や家族への適切な対応を行っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、施設系サービス介護従事者が認知症の本人や家族への適切な対応を行っている。 （2）事業の効率性 介護従事者に直接研修を行うことで効率的に認知症に関する正しい知識を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.41】 訪問介護員等認知症対応力向上研修	【総事業費】 4,974 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりのため、訪問サービスの従事者等を対象とした認知症対応力向上研修を実施 【内容】・認知症の知識 ・早期対応の重要性 ・認知症の人と家族に対する支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・訪問介護員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所 ・介護支援専門員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所 ○令和5年度 ・訪問介護員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所 ・介護支援専門員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・訪問介護員研修 4地区×1回開催 参加者101人 ・介護支援専門員研修 4地区×1回開催 参加者141人 ○令和5年度 ・訪問介護員研修 4地区×1回開催 参加者106人 ・介護支援専門員研修 4地区×1回開催 参加者144人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりが推進される。 観察できた→本事業を行うことで認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （1）事業の有効性 本事業を行うことで認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （2）事業の効率性 訪問介護員及び介護支援専門員を研修対象とすることで効率的に認知症の対応力を向上することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.42】 地域互助による認知症高齢者支援体制づくり 事業	【総事業費】 686 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	特定非営利活動法人福岡県高齢者グループホーム協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）の職員等を対象に、県内4地区で以下の内容の講義、演習を行う。 講義と演習「地域を巻き込む意義と実践」 認知症高齢者支援の模擬訓練視察研修	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催 ○令和4年度 4ブロックで実施 ○令和5年度 4ブロックで実施	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・グループホームを対象とした地域の働きかけを行う研修 参加者 91人 ○令和5年度 ・グループホームを対象とした地域の働きかけを行う研修 参加者 141人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民の助け合い、世代を超えた住民の集まりの場づくり等をサポートすることで、地域の人たちの認知症を正しく理解し、地域で支える意識を高め、認知症の人やその家族が地域で安心して生活できるための体制の整備に資する。 観察できた→本事業の実施により、グループホーム職員が、地域における認知症の本人や家族への適切な支援体制構築に向けた役割を担っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、グループホーム職員が、地域における認知症の本人や家族への適切な支援体制構築に向けた役割を担っている。 （2）事業の効率性 グループホームの事業者団体が直接実施することで、より実践的で効率的に運用されている。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.43】 一般県民、家族介護者向け認知症公開講座 事業	【総事業費】 13,973 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県医師会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	大綱における「認知症に関する理解促進」のため、認知症の人や家族の視点に立った認知症に対する正しい理解と、それに基づく適切な対応を図るための、認知症の人や家族と地域住民による意見交換会やグループワーク等の研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催 ○令和4年度 20回／年 ○令和5年度 20回／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 地域住民、家族介護者向け認知症公開講座 対象：福岡県内居住の地域住民・家族介護者等 10回開催 参加者合計 879人 ○令和5年度 地域住民、家族介護者向け認知症公開講座 対象：福岡県内居住の地域住民・家族介護者等 13回開催 参加者合計 1,703人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症に係る地域での支え合い体制を整備することにより、認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減される。 観察できた→本事業の実施によって認知症に係る意見交換会等の実施により認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減されている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業の実施によって認知症に係る意見交換会等の実施により認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減されている。</p> <p>（2）事業の効率性 福岡県内居住の地域住民・家族介護者等と意見交換等行うことで対象者に効率的に働きかけることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.48】 リハビリ専門職の介護予防指導者養成事業	【総事業費】 2,549 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県作業療法協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域のあらゆる通いの場で介護予防の取組を推進するため、リハビリテーション専門職に対し、介護予防推進に係る指導者として必要な知識の習得を図るための研修会を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内全域で実施、養成者数800人 ○令和5年度 県内全域で実施、養成者数800人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 参加者：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、県・市町村職員 3回開催 参加者286人 ○令和5年度 参加者：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、県・市町村職員 3回開催 参加者209人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢者の心身機能の維持・向上が図れるように、それぞれの地域で介護予防推進員や住民に対してリハビリテーションを指導できる人材が養成される。 観察できた→本事業の実施によって地域でリハビリテーション指導する人材が養成されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施によって地域でリハビリテーション指導する人材が養成されている。 （2）事業の効率性 リハビリテーション専門職等に対して養成事業を行うことで効率的な育成が推進できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.49】 権利擁護人材養成事業	【総事業費】 75,390 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県、北九州市、福岡市、久留米市、中間市、筑紫野市、古賀市、福津市、うきは市、糸島市、水巻町、社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	市民後見人養成のための研修、市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築、市民後見人の適正な活動のための支援、その他市民後見人の活動の推進に関する事業を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県事業：60市町村対象に実施 ○令和5年度 県事業：60市町村対象に実施	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・市民後見人養成のための研修 10市町1団体で開催 参加者 799人 ・市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築 6市1団体で実施 ・市民後見人の適正な活動のための支援 4市で実施 ・その他市民後見人の活動の推進に関する事業を実施することへの支援 9市で実施 ○令和5年度・市民後見人養成のための研修 11市町1団体で開催 参加者 612人 ・市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築 7市1団体で実施 ・市民後見人の適正な活動のための支援 4市で実施	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：市民後見制度の体制を整備・強化することにより、市民後見人といった認知症高齢者等の権利擁護に携わる人材の養成と資質の向上に資する。 観察できた→本事業を実施することで市民後見人の育成や市民後見人の活動を安定的に実施する組織体制の構築等が図られている。 （1）事業の有効性 本事業を実施することで市民後見人の育成や市民後見人の活動を安定的に実施する組織体制の構築等が図られている。 （2）事業の効率性 本事業の実施により市民後見人等に効率的に人材の育成や組織体制の構築等ができています。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.50】 介護事業所の各種研修に係る代替職員派遣事業	【総事業費】 40,880 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険施設・事業所の介護職員が研修を受ける場合に、代替職員を派遣	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 派遣日数：1,320人日/年 ○令和5年度 派遣日数：1,320人日/年	
アウトプット指標（達成値）	令和4年度：実人数24人 延べ1,002人日 令和5年度：実人数27人 延べ1,094人日	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険施設・事業所の介護職員が各種研修に参加する場合に、当該施設・事業所に代替職員を派遣することにより、介護職員の研修参加を促し、職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られる。 観察できた→本事業の実施により、介護職員の研修参加を促すことで職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、介護職員の研修参加を促すことで職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られている。 （2）事業の効率性 介護職員の研修参加に代替職員を派遣することで効率的に研修参加を促進することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.52】 看護職に対する介護教育研修事業	【総事業費】 2,747 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県訪問看護ステーション連絡協議会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	訪問看護に係る指導者（中堅職員）及び職員を対象に、新人育成及び医療・介護の知識や技能の向上のための研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 県内全域で実施、4回開催 ○令和5年度 県内全域で実施、4回開催	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・研修 対象：訪問看護師・他医療従事者 1回開催（オンライン） 参加者 351 事業所 ○令和5年度 ・研修 対象：訪問看護師・他医療従事者 3回開催 参加者 156 事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：訪問看護に係る看護職員が、新人育成及びタイムリーなテーマで必要な知識や技術を学ぶことで、介護職員の早期離職防止・定着促進に資する。 観察できた→本事業の実施により介護職員の早期離職防止・定着促進が推進されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により介護職員の早期離職防止・定着促進が推進されている。 （2）事業の効率性 指導を行う中堅職員を対象とすることで、効率的に新人育成を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.53】 初任者及び中堅職員に対する職場環境改善 研修事業	【総事業費】 10,049 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職の定着率を高め職場環境を改善することを目的として、「初任者向け研修（入職～2年目）」、「中堅職員向け研修（事務長・課長クラス）」、「介護からの離職をテーマとしたシンポジウム」を開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4・5年度 ・初任者向け研修：4回開催／年 ・中堅職員向け研修：4回開催／年 ・シンポジウム：1回開催／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・初任者向け研修:6回 ・中堅職員向け研修:6回 ・シンポジウム:1回 ○令和5年度 ・初任者向け研修:6回 ・中堅職員向け研修:6回 ・シンポジウム:1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：初任者向けに介護職員としての意識と行動を身に着ける研修、中堅職員向けにリーダーとしての遂行能力、育成能力を身に着ける研修を実施、介護職員が安心して働き続けられる職場環境の整備をテーマとしたシンポジウムを開催することにより、介護人材の定着に資する。 観察できた→本事業実施により介護人材の定着を推進している。 （1）事業の有効性 本事業実施により介護人材の定着を推進している。 （2）事業の効率性 初任者と中堅職員を対象とすることでそれぞれに有効な知識を研修を通じて効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.54】 看護管理者等の管理能力向上事業	【総事業費】 1,013 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県看護協会	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設の看護管理者等を対象とした研修会を開催し、管理者としての役割に対する理解を深め、また管理者同士で問題を共有して悩みを解決することで、労働関係法規をはじめとした雇用管理に係る各種制度の理解を促進し、働き続けることのできる職場づくりの推進等を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4・5年度 ・研修開催：1回 ・受講者：50人	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 研修：1回開催 受講者：31人 ○令和5年度 研修：1回開催 受講者：36人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護施設等の看護管理者等を対象として研修会を実施することにより、介護職員及び看護職員の雇用管理環境等の改善を図る 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 介護施設等における看護管理者等に対して直接研修を行うことで雇用管理環境の改善等に関する情報を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.55】 介護職員管理能力向上事業	【総事業費】 60,168 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職員に対する人事管理、マネジメント、リーダーシップ、人材育成等について、理論講義、グループ討議、演習、自己診断、事例研修等の形式による研修会を行うとともに、小規模事業所のうち定着率が特に低い事業所に対しては、アドバイザーによる訪問指導を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加数 ○令和4年度 360事業所／年 ○令和5年度 360事業所／年	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 県内4地区、24会場で実施 研修の受講者数149人 ○令和5年度 県内4地区、23会場で実施 研修の受講者数104人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：管理者や中堅職員等に対し、組織マネジメント、リーダーシップ、コーチング理論、具体的な雇用改善方策に取り組むための研修を実施し、介護職員が安心して働き続けられる環境整備に資する観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 本事業により管理者や中堅職員等に対し知識を効率的に伝達することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.56】 介護の職場環境改善セミナー実施事業	【総事業費】 7,220 千円
事業の対象となる区域	北九州	
事業の実施主体	北九州市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護事業所の経営者や管理者を対象に、介護事業所が抱える労務管理・人材育成に関する課題を解決するための知識や手法を学ぶ「介護の職場環境改善セミナー」を実施。セミナーは人材育成・人材定着の手法や介護経営、メンタルヘルス、労働トラブルの防止などをテーマに実施する。 セミナー受講対象者：北九州市内の介護保険事業所の経営者及び管理者	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護の職場環境改善セミナー ○令和4年度 10回開催／年 ○令和5年度 10回開催／年	
アウトプット指標（達成値）	介護の職場環境改善セミナー ○令和4年度 11回開催 ○令和5年度 12回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護事業所の経営者や管理者を対象にしたセミナーの実施により職場の環境改善を図り、介護事業所における人材の定着に資する。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 介護事業所の経営者や管理者を対象を絞ることでセミナーを通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.57】 経営者・管理者向けマネジメント研修事業	【総事業費】 5,390 千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険事業所の経営者及び管理者を対象に人・組織、サービス、財務に関する統合的なマネジメント研修を実施する。（例：経営者の意識改革、リーダーシップ開発、組織マネジメント、人事・労務管理改善、人材育成、メンタルヘルス向上、業務効率化、労働環境改善等） 研修受講対象者：福岡市内の介護保険事業所の経営者及び管理者	
アウトプット指標（当初の目標値）	経営者・管理者向けマネジメントセミナー ○令和4年度 10回開催／年 ○令和5年度 10回開催／年	
アウトプット指標（達成値）	経営者・管理者向けマネジメントセミナー ○令和4年度 10回開催 ○令和5年度 14回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険事業所の経営者や管理者が意識改革を行い、総合的マネジメントを学ぶことで、事業所内の様々な課題解決の知識・手法を身に着けるための研修を実施し、経営者・管理者を中心とした職場環境改善を図る。 観察できた→介護保険事業所の経営者・管理者の意識改革が進み、経営者・管理者を中心として職場環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 介護保険事業所の経営者・管理者の意識改革が進み、経営者・管理者を中心として職場環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 介護事業所の経営者や管理者を対象を絞ることで、研修を通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.58】 介護ロボット・エキスパート育成事業	【総事業費】 16,387 千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和5年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険事業所の職員対象の介護ロボット現場リーダー養成研修、経営者・管理者対象の介護ロボット管理者向け研修及び介護ロボットアドバイザーによるロボット機器マッチング・試用貸出の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・現場リーダー養成研修：年9回開催 ・管理者向け研修：年9回開催 ・試用貸出：年9事業所 ○令和5年度 ・現場リーダー養成研修：年9回開催 ・管理者向け研修：年9回開催 ・試用貸出：年9事業所	
アウトプット指標（達成値）	研修 ○令和4年度 5回開催 参加者延べ14人 ○令和5年度 4回開催 参加者延べ12人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行い、導入率を高めることで職場の環境改善を図り、介護人材の定着につなげる。 観察できた→介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行うことができています。 （1）事業の有効性 介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行い、導入率を高めることにより、介護の職場環境改善と介護人材の定着を促すことができています。 （2）事業の効率性 職員に対する研修と併せて経営者・管理者向けの研修を一体的に実施することにより、効率的に介護ロボット導入への動機づけを行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.59】 ノーリフティングケア普及促進支援事業	【総事業費】 25,840 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	ノーリフティングケアの正しい認識、導入目的や期待される効果、管理者として取り組むべき職場環境改善等を内容とした管理者向け研修会、モデル施設を対象としたマネジメント研修、モデル施設による取組報告会及びリーダー施設養成のための指導者養成研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・管理者向け研修：年1回 ・モデル施設マネジメント研修：年5回 ・取組結果報告会：年1回 ・指導者養成研修：年10回 ○令和5年度 ・管理者向け研修：年1回 ・モデル施設マネジメント研修：年5回 ・取組結果報告会：年1回 ・指導者養成研修：年10回	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 ・モデル施設数 35施設 うちメンター11施設、アドバイザー11施設、新規取組13施設 ・モデル施設マネジメント研修 4地区 計5回開催 ・モデル施設指導者育成研修 4地区 計8回開催 ・地域連絡協議会 6回開催（4地区） 参加者446人 ・ノーリフティングケアフォーラム 参加者165名 ○令和5年度 ・取組施設数 49施設 うちメンター12施設、アドバイザー22施設、新規取組15施設 ・新規取組施設マネジメント研修 4地区 計6回開催 ・モデル施設指導者育成研修 4地区 計9回開催 ・地域連絡協議会 33回開催（4地区）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：抱え上げない、持ち上げない、引きずらないケアであるノーリフティングケアを普及し、職員の負担軽減や職場環境の改善を進めることにより、介護人材の定着を図る。 観察できた→ノーリフティングケアの普及を進めることができています。 （1）事業の有効性 ノーリフティングケアの普及により、職員の身体的負担を軽減するとともに、職場環境の改善を進めることにより、介護人材の定着を図ることができています。 （2）事業の効率性 モデル施設を選定し、管理者向け研修やマネジメント研修等に段階的に取り組み、その結果報告会を実施することにより、ノーリフティングケアを効率的に普及させることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.60】 介護業務効率化支援モデル事業	【総事業費】 15,965 千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	モデル事業所を選定し、ICTに詳しいコンサルタントを派遣することでICT導入に向けた業務効率化を支援するとともに、必要に応じてモデル事業所内の介護職員にICT機器の操作方法等の研修を実施。併せて、業務効率化の好事例について周知を行う	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 ・モデル事業所 7事業所選定 ・コンサルティング 各6回/年 ○令和5年度 ・モデル事業所 7事業所選定 ・コンサルティング 各6回/年	
アウトプット指標（達成値）	・ICTを活用した介護事業所の業務効率化支援 ○令和4年度 参加事業所 8事業所 ○令和5年度 参加事業所 2事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけにつなげる。 観察できた→各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけを行うことができている。 （1）事業の有効性 各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけを行うことができている。 （2）事業の効率性 ICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、介護分野のICT化への動機づけを効率的に行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.61】 介護のしごと「人材定着・職場環境改善」表彰 事業	【総事業費】 816 千円
事業の対象となる区域	北九州	
事業の実施主体	北九州市	
事業の期間	令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	事例の募集：他の事業所のモデルとなる「人材定着・職場環境改善への取り組み」を介護保険事業所に募集 表彰式：応募事例を選考後、表彰式において事業所等を表彰するとともに、表彰を受けた事業所が取り組み内容を発表する。 広報・啓発：受賞事業所等について、北九州市が市のホームページで広報・啓発を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和 4 年度 事例募集・選考・表彰は年に 1 回実施。 ○令和 5 年度 事例募集・選考・表彰は年に 1 回実施。	
アウトプット指標（達成値）	○令和 4 年度 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○令和 5 年度 ・表彰受賞者 1 事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護職員の育成や、処遇・職場環境の改善による介護人材の定着促進に積極的に取り組む介護事業所を表彰し、その取り組みを広く公開し、他の介護事業所に周知することで、介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図り、介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備する。 観察できた→本事業の実施により介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤の構築に寄与している。 （1）事業の有効性 本事業の実施により介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤の構築に寄与している。 （2）事業の効率性 介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図ることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.62】 外国人介護人材受け入れ施設環境整備事業	【総事業費】 14,212 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所、県内介護福祉士養成施設に補助）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れるための環境整備等に要する経費の一部を補助	
アウトプット指標（当初の目標値）	○R4年度 ・介護施設等に対する補助：291箇所／年 ・養成施設に対する補助：3箇所／年 ○R5年度 ・介護施設等に対する補助：210箇所／年 ・養成施設に対する補助：4箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	○R4年度 ・受入施設等に対する補助 21件 うち介護施設・事業所 18件、介護福祉士養成施設 3件 ○R5年度 ・受入施設等に対する補助 33件 うち介護施設・事業所 30件、介護福祉士養成施設 3件	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れた施設に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促す。 観察できた→外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことができた。 （1）事業の有効性 外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。 （2）事業の効率性 外国人介護人材の受入れにあたって、コミュニケーションや文化・風習の違いによる不安、学習支援や生活支援のための体制が整備できない等の困難を抱える介護施設等を支援することで、外国人介護人材の就労と定着に繋げることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.63】 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業	【総事業費】 4,296,494 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護サービス事業所・施設等が、感染機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供するために必要な経費について支援を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	対象施設への補助 令和4年度：387事業所 令和5年度：1,392事業所	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 事業継続支援補助実績 750件 ○令和5年度 事業継続支援補助実績 2,384件	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組に対して補助することで、労働環境・処遇の改善を図る。</p> <p>観察できた→本事業により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組が行われ、労働環境や処遇が改善している。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組が行われ、労働環境や処遇が改善している。</p> <p>（2）事業の効率性 新型コロナウイルス感染症の影響で必要となる取組は、地域やサービス種別により異なるため、各事業所に補助を行うことで効率的かつ速やかに実施することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.67】 介護職員処遇改善加算強化事業	【総事業費】 25,524 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和4年4月～令和6年3月 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算の届出を行う事業者に対して、人事評価制度や職位・職責に応じた任用要件・賃金体系の確立等について助言を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	○令和4年度 加算届出事業所数：1,100箇所 ○令和5年度 加算届出事業所数：1,100箇所	
アウトプット指標（達成値）	○令和4年度 対面での相談・助言 2回開催 ○令和5年度 対面での相談・助言 1回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算の届出を行う事業者の相談に対して助言を行うことで、加算制度への理解を促し、加算取得を推進することにより、介護職員の確保・定着に結び付ける。 観察できた→相談に対する助言により、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。	
	<p>（1）事業の有効性 相談に対する助言により、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。</p> <p>（2）事業の効率性 相談を受け個別に助言することで、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。</p>	
その他		

令和5年度福岡県計画に関する 事後評価

※介護従事者の確保に関する事業分のみ

令和7年2月

福岡県

1. 事後評価のプロセス

(1) 「事後評価の方法」の実行の有無

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行った (実施状況) 〔令和5年度実施分〕</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和7年2月14日～2月21日 福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会において審議(書面開催) <p><input type="checkbox"/> 行わなかった (行わなかった場合、その理由)</p>
--

(2) 審議会等で指摘された主な内容

<p><input type="radio"/> 介護人材確保分</p> <p>〔審議会等で指摘された主な内容〕 〔令和5年度実施分〕</p> <ul style="list-style-type: none">・ 事務局案のとおり了承された。(令和7年2月21日福岡県社会福祉審議会老人福祉専門分科会)(書面開催)
--

2. 目標の達成状況

<p>■ 福岡県全体</p> <p>1. 目標</p> <p>福岡県においては、超高齢社会を迎えるにあっても、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を構築し、県民生活の「安定」、「安全」、「安心」を向上させるため、以下を目標とする。</p> <p>⑤ 介護従事者の確保に関する目標</p> <p>福岡県においては、令和8年度(2026年度)における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。</p> <p>【定量的な目標値】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和8年度の福岡県で必要となる介護人材 94,458人を確保する。 <p>2. 計画期間</p> <p>令和5年4月～令和6年3月</p>
<p><input type="checkbox"/> 福岡県全体(達成状況)</p> <p>1) 目標の達成状況</p> <p>⑤ 介護従事者の確保に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 福岡・糸島区域

1. 目標

福岡・糸島区域は、政令指定都市である福岡市及び糸島市の2市から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は1,685,860人、高齢者人口は383,146人、高齢化率22.7%となっている。県内最大の人口を擁し、高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、急激な高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、福岡・糸島区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

□ 福岡・糸島区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 粕屋区域

1. 目標

粕屋区域は、古賀市並びに粕屋郡宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、及び

粕屋町の1市7町から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は294,395人、高齢者人口は70,673人、高齢化率24.0%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、粕屋区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

粕屋区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

宗像区域

1. 目標

宗像区域は、宗像市及び福津市の2市から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は165,330人、高齢者人口は48,365人、高齢化率29.3%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）よりやや高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、宗像区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

□ 宗像区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 筑紫区域

1. 目標

筑紫区域は、筑紫野市、春日市、大野城市及び太宰府市並びに那珂川市の5市から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は442,404人、高齢者人口は109,068人、高齢化率24.7%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し低いものの、今後、高齢化が見込まれていることから、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、筑紫区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

□ 筑紫区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 朝倉区域

1. 目標

朝倉区域は、朝倉市並びに朝倉郡筑前町及び東峰村の1市1町1村から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は82,749人、高齢者人口は28,051人、高齢化率33.9%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、朝倉区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

□ 朝倉区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 久留米区域

1. 目標

久留米区域は、久留米市、大川市、小都市及びうきは市並びに三井郡大刀洗町及び三潞郡大木町の4市2町から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は451,067人、高齢者人口は131,167人、高齢化率29.1%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）と比較し高くなっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、久留米区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 久留米区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 八女・筑後区域

1. 目標

八女・筑後区域は、八女市及び筑後市並びに八女郡広川町の 2 市 1 町から構成されており、令和 5 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 129,459 人、高齢者人口は 41,475 人、高齢化率 32.0%となっている。高齢化率は県平均（27.9%）より高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、八女・筑後区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

八女・筑後区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 有明区域

1. 目標

有明区域は、大牟田市、柳川市及びみやま市の 3 市から構成されており、令和 5 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 205,633 人、高齢者人口は 76,092 人、高齢化率 37.0%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、有明区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

有明区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 飯塚区域

1. 目標

飯塚区域は、飯塚市及び嘉麻市並びに嘉穂郡桂川町の2市1町から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は173,725人、高齢者人口は59,298人、高齢化率34.1%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和8年度までに県全体で94,458人の介護人材を確保することを目標としており、飯塚区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和5年4月～令和6年3月

□ 飯塚区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和5年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和6年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和6年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 直方・鞍手区域

1. 目標

直方・鞍手区域は、直方市及び宮若市並びに鞍手郡小竹町及び鞍手町の2市2町から構成されており、令和5年4月1日現在、圏域人口は104,945人、高齢者人口は37,067人、高齢化率35.3%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較しかなり高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和8年度（2026年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、直方・鞍手区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 直方・鞍手区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 田川区域

1. 目標

田川区域は、田川市並びに田川郡香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村及び福智町の 1 市 6 町 1 村から構成されており、令和 5 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 120,927 人、高齢者人口は 44,500 人、高齢化率 36.8%となっている。高齢化率は県内で最も高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、田川区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 田川区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 北九州区域

1. 目標

北九州区域は、政令指定都市である北九州市、及び中間市並びに遠賀郡芦屋町、水巻町、岡垣町及び遠賀町の 2 市 4 町から構成されており、令和 5 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 1,055,696 人、高齢者人口は 335,549 人、高齢化率 31.8%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、北九州区域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

□ 北九州区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

■ 京築区域

1. 目標

京築区域は、行橋市及び豊前市並びに京都郡苅田町、みやこ町、築上郡吉富町、上毛町及び築上町の 2 市 5 町から構成されており、令和 5 年 4 月 1 日現在、圏域人口は 184,816 人、高齢者人口は 59,339 人、高齢化率 32.1%となっている。高齢化率は県平均(27.9%)と比較し高い値となっており、県民が住み慣れた地域で生活しながら適切な医療・介護を受けられる体制を早急に構築していく必要がある。このため、以下を目標とする。

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

福岡県においては、令和 8 年度（2026 年度）における介護人材の必要量を確保することを目標とする。そのため、介護分野への参入促進、人材の定着率向上及び資質の向上を図る対策を進める。

【定量的な目標値】

- ・ 令和 8 年度までに県全体で 94,458 人の介護人材を確保することを目標としており、京築域においてもそのための対策を着実に進める。

2. 計画期間

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

京築区域（達成状況）

1) 目標の達成状況

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で達成状況を記載する。

2) 見解

⑤ 介護従事者の確保に関する目標

- ・ 令和 5 年度以後の福岡県介護職員数が判明した段階で見解を記載する。

3) 目標の継続状況

- 令和 6 年度計画にも当該目標に関連した目標を掲げている。
- 令和 6 年度計画には当該目標に関連した目標は掲げていない。

3. 事業の実施状況

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.1】 介護人材確保・定着促進ネットワーク事業	【総事業費】 0 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）	
事業の期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	「福岡県介護人材確保・定着促進協議会」を設置するとともに、その中に 2 つの部会（参入促進部会、環境改善・人材育成部会）を設置	
アウトプット指標（当初の目標値）	・協議会：年 2 回開催 ・部会：年 4 回開催	
アウトプット指標（達成値）	・福岡県介護人材確保・定着促進協議会 2 回開催（書面・集合） ・参入促進部会 : 2 回開催（オンライン） ・環境改善・人材育成部会 2 回開催（オンライン）	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護の事業者団体等の関係団体で構成する協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進される。 観察できた→本事業により福岡県介護人材確保・定着促進協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進されている。 （1）事業の有効性 本事業により福岡県介護人材確保・定着促進協議会を設置し、介護業界の主体的・自主的な取組が促進されている。 （2）事業の効率性 介護関係団体が一堂に会することで取組について全体として効率的に取り組むことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.2】 福祉人財共働ワーキング事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	福岡市に「福祉人財共働ワーキング」を設置し、市内における介護職員の現状・課題を把握するとともに、課題の改善に向けた具体的な対策を検討	
アウトプット指標（当初の目標値）	ワーキング：年5回開催	
アウトプット指標（達成値）	福祉人財共働ワーキング：3回開催	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：福岡市に「福祉人財共働ワーキング」を設置し、市内における介護職員の現状・課題を把握するとともに、課題の改善に向けた具体的な対策を検討することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できるよう介護人材確保の基盤を構築する。 観察できた→本事業を実施することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで、地域の課題に応じた効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業を実施することで、地域における課題の検討を行うことができ、効率的かつ効果的な施策が展開できる介護人材確保の基盤の構築に寄与している。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.3】 訪問介護員確保支援事業	【総事業費】 40千円
事業の対象となる区域	京築	
事業の実施主体	上毛町	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	上毛町を中心に訪問介護員不足に悩む各団体や、事業所による介護サービスの提供範囲が重なる近隣市町村等を構成員とした会議体を設置	
アウトプット指標（当初の目標値）	年3回開催	
アウトプット指標（達成値）	介護人材確保対策推進会議：5回開催	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：上毛町を中心に、近隣市町村等を構成員とした会議体を設置することで、地域の介護人材にかかる現状把握と共通課題の抽出を行い、連携して課題に取り組む体制を構築し、介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備する。</p> <p>観察できた→本事業により、地域の介護人材にかかる現状把握と共通課題の抽出を行い、連携して課題に取り組む体制を構築し、介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備に寄与している。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業により、地域の介護人材にかかる現状把握と共通課題の抽出を行い、連携して課題に取り組む体制を構築し、介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備に寄与している。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業により、地域の介護人材にかかる現状把握と共通課題を検討でき、効率的かつ効果的な施策が展開できる介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備に寄与している。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.4】 介護サービス事業所認証評価事業	【総事業費】 16,303 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	職員の人材育成や労働環境等の改善に取り組む介護サービス事業所に対し認証を付与	
アウトプット指標（当初の目標値）	認証事業所数：1,600事業所/年	
アウトプット指標（達成値）	・働きやすい介護職場認証事業所数 400事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護事業者の人材育成や労働環境等の改善に向けた取組に認証を付与し「見える化」を図ることにより、働きやすい職場環境の基盤整備につなげる。 観察できた→本事業により、認証を付与し「見える化」を図ることにより、働きやすい職場環境の基盤整備に寄与している。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業により、認証を付与し「見える化」を図ることにより、働きやすい職場環境の基盤整備に寄与している。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業により、効率的に介護事業者の自発的な取組を求職者に伝え、働きやすい職場環境の基盤整備に寄与している。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.5】 介護職をめざす学生による介護の魅力発信事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設で介護福祉士をめざす学生によるイベント等での情報発信	
アウトプット指標（当初の目標値）	イベント等による広報：1回	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・会場イベント開催（R5.10.7）：来場者数 約2,000人 ・高校生へのDM個別配布 ・地域住民にチラシを配布 ・SNSを活用した広報 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：若者の感覚でイベント等を実施し、広報を行うことにより、介護を学ぶ高校新卒者を増やすなど、介護の仕事への若者の新規参入が促される。</p> <p>観察できた→若者の感覚でのイベント等広報によって介護の仕事への若者への新規参入が促されている。</p> <p>（1）事業の有効性 若者の感覚でのイベント等広報により介護の仕事への若者への新規参入が促されている。</p> <p>（2）事業の効率性 ターゲットを高校生等の若年層に絞ることで、介護に関する情報を効率的に伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.6】 地域住民向け介護体験講座	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	主婦層、退職者、転職を希望する者、失業者及び就職を控えた子を持つ保護者等に対し介護職の魅力を伝える介護体験講座の開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域 4会場で4回実施/年	
アウトプット指標（達成値）	地域住民向け介護体験講座 8回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民のうち、主婦層、退職者、転職希望者等が、介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持ち、介護の仕事の重要性を再認識し、資格取得や就労につながる。 観察できた→地域住民が介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持つことができている。 （1）事業の有効性 地域住民が介護職の正しい知識と技術を学ぶことで介護の仕事に関心を持つことができている。 （2）事業の効率性 地域住民に介護職の知識を体験講座により直接伝えることで、効率的に介護職の正しい知識と技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.7】 介護の魅力を発信する介護講座	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内全域において、介護の3つの魅力（「楽しさ」「広さ」「深さ」）を発信するために座談形式のセミナー、介護講座の開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域でセミナー・介護講座実施 88回／年	
アウトプット指標（達成値）	セミナー・介護講座実施 90回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内でも高齢化が進み介護ニーズが増加する一方で、人材参入が進まない八女・筑後・有明地域等の県南地域で、介護職の魅力を紹介し、介護人材の参入が促進される。 観察できた→人材参入が進まない県南地域でセミナーを開催することで介護人材の参入が促進されている。	
	<p>（1）事業の有効性 人材参入が進まない県南地域でセミナーを開催することで介護人材の参入が促進されている。</p> <p>（2）事業の効率性 県南地域でセミナーを直接開催することで効率的に介護の魅力を伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.8】 介護の魅力を発信する地域別ミニイベント事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県介護福祉士養成施設協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域住民（特に元気高齢者、子育てが終わった世代等）を対象とした『介護の3つの魅力を発信するDVD』上映やドラマワーク等の体験型イベント開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内4箇所でイベント実施 4回/年	
アウトプット指標（達成値）	地域別ミニイベント：5回開催（4地区）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民（特に元気高齢者、子育てが終わった世代等）を対象として『介護の3つの魅力を発信するDVD』上映やドラマワーク等の体験型イベント開催することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進する。 観察できた→本事業を実施することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進している。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで、介護の魅力を発信し、介護分野への参入を促進している。</p> <p>（2）事業の効率性 各地域でセミナーを直接開催することで効率的に介護の魅力を伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.9】 世界アルツハイマーデー啓発事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人認知症の人と家族の会福岡県支部	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症に対する理解促進のためアルツハイマーデー記念日に合わせて講演会及び街頭活動を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域で、啓発活動、街頭活動の実施 年1回	
アウトプット指標（達成値）	（1）2023年世界アルツハイマーデー記念講演会 於福岡市 75人参加 （2）街頭活動	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：家族に認知症の人を持つ方が、実体験に基づき、認知症の人を支える助け合いの精神の必要性を周知することで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まる。 観察できた→ 記念講演会や街頭活動を行うことで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まっている。	
	（1）事業の有効性 記念講演会や街頭活動を行うことで、若者から高齢者まで認知症に対する理解が深まっている。 （2）事業の効率性 記念講演会や街頭活動を行うことで、認知症に対する知識を効率的に伝えている。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.10】 介護業務の普及・啓発大会事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	主に学生などの若者や介護に興味・関心のない方等を対象に、介護に対する正しい理解と認識を深めるとともに介護職の魅力を伝えることで介護分野への多様な人材の参入促進に資するイベントを開催 ・介護に関するトークライブ ・介護に関する体験コンテンツ ・介護が学べる学校紹介展示 等	
アウトプット指標（当初の目標値）	観覧者 500名/年	
アウトプット指標（達成値）	福岡県介護業務普及・啓発大会 ・当日参加者延べ人数 756人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員が誇りと意欲を持って働くことができる介護現場の実現を目指すとともに、県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まる。 観察できた→県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まっている。 （1）事業の有効性 県民等に介護及び介護の仕事に対する理解と認識が深まっている。 （2）事業の効率性 当日観覧者に介護に関する情報を提供することで効率的な情報伝達を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.11】 介護のしごと魅力発信事業	【総事業費】 5,000 千円
事業の対象となる区域	北九州	
事業の実施主体	北九州市	
事業の期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	将来の地元就職に繋げることを目指すイベントとして開催されている「北九州ゆめみらいワーク」にブースを出展	
アウトプット指標（当初の目標値）	イベント実施 2 回／年	
アウトプット指標（達成値）	北九州ゆめみらいワークにブースの出展 参加者数（中学生・高校生）600 人	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：北九州ゆめみらいワークにブースを出展し、中高生に介護の魅力をアピールし、介護の仕事への若者の新規参入が促される。 観察できた→北九州ゆめみらいワークにブースを出展することによって、介護の仕事への若者の新規参入が促されている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで、若者に対して介護の魅力をアピールし、介護分野への参入を促進している。</p> <p>（2）事業の効率性 北九州ゆめみらいワークにブースを出展し、ターゲットを中高生にすることにより、効率的に介護の魅力をアピールできている。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.12】 「介護の仕事」理解促進事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	小学生、中学生、高校生等を対象として、「介護の仕事」を正しく理解してもらうための高齢者ふれあい体験や施設見学、就業体験を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	小学生：県内4地区 年1回、中学生、高校生：県内4地区 年2回	
アウトプット指標（達成値）	・会場実施型：中学生・年9回、高校生・年5回 ・学校訪問型：小学生・年2回、中学生・年2回、高校生・年3回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場を正しく理解することにより、将来を担う若者が介護の仕事について関心を持ち、介護の仕事に対する正しい理解を得ることで、若者の新規参入が促される。 観察できた→将来を担う若者が介護に対する正しい知識と理解を得ることで介護の仕事に関心を持つことができている。 （1）事業の有効性 将来を担う若者が介護に対する正しい知識と理解を得ることで介護の仕事に関心を持つことができている。 （2）事業の効率性 将来を担う若者に介護の仕事に対する正しい理解を促すことで、効率的に介護の仕事の正しい知識を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.13】 中学生・高校生に対する介護施設等へのインターンシップ事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	中学校及び高校のインターンシップ促進のため、受入れ可能な介護施設の情報をホームページに掲載して情報発信を行う	
アウトプット指標（当初の目標値）	インターンシップ受入れ可能な介護施設情報のホームページ掲載	
アウトプット指標（達成値）	○ホームページ掲載数 受入れ可能な施設等 176事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：受入可能施設・事業所の情報を提示することによりインターンシップを促進し、中学生及び高校生の職業の選択肢として、介護を選択する動機付けが行われる。 観察できた→介護を行う施設・事業所における中学生・高校生のインターンシップが促進されている。 （1）事業の有効性 介護を行う施設・事業所における中学生・高校生のインターンシップが促進されている。 （2）事業の効率性 受入可能施設・事業所の情報をホームページに掲載することにより、中学・高校の教員がインターンシップを行う際のアクセスが容易になる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.14】 単位老人クラブ活動支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	久留米市、豊前市、筑紫野市、岡垣町	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	単位老人クラブに対する各種書類の作成、事務効率化及び事務負担の軽減につながる助言等の支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	支援する老人クラブ 6か所	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成等に係る支援：3市で実施 ・課題等の聞き取り、助言：1市で実施 	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各クラブでの活動状況や課題等の聞き取りを行い、必要な助言を行うことで事務負担の軽減に繋げる。 観察できた→本事業の実施により事務負担の軽減が図られている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業の実施により事務負担の軽減が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 事務負担軽減及び書類作成等に係る支援や助言等を行うことで事務効率化を図ることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.15】 高齢者支援ボランティアポイントモデル事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	八女・筑後	
事業の実施主体	大川市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	高齢者の生活支援・介護予防事業のスタッフやチームオレンジとして活動した者に対し、回数に応じてボランティアポイントを付与する事業を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	ボランティア等活動人数：300人（延べ7,200回）	
アウトプット指標（達成値）	・ボランティア登録者数 58人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢者の生活支援・介護予防事業のスタッフやチームオレンジとして活動した者に対し、回数に応じてボランティアポイントを付与してポイント交換交付金を交付することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進する。 観察できた→本事業を実施することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進している。	
	（1）事業の有効性 本事業を実施することで、地域における介護分野での社会参加・就労的活動を推進している。	
	（2）事業の効率性 本事業で地域における助け合いの活動にインセンティブを付与することで、介護分野での社会参加・就労的活動を効率的に推進している。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.16】 介護人材養成・就職支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	福祉人材センターに就職支援専門員と介護人材開拓員を配置し、「福岡県70歳現役応援センター」とも連携して、就職支援、介護に関する入門的研修と職業紹介の一体的な実施、離職した介護福祉士の届出制度を活用した再就職の促進を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	職業紹介による介護職就業者数 125人	
アウトプット指標（達成値）	○就職者数 R5：103人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介、離職した介護福祉士届出制度による再就職の促進などにより、厳しい状況にある介護人材確保を改善する。 観察できた→就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介などにより、介護現場への就職につながっている。	
	<p>（1）事業の有効性 就職支援専門員によるきめ細かな職業紹介などにより、介護現場への就職につながっている。</p> <p>（2）事業の効率性 福祉人材センターに就職支援専門員を配置し、研修や職業紹介などを一体的に実施することにより、効率的に就職支援を行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.17】 介護職チームケア実践力向上推進事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業、一部県内介護事業所に補助）、福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	以下①～③の取組を実施するモデル施設・事業所を選定し、取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うとともに、取組成果の全県下への横展開を図る。 ①介護助手等多様な人材の雇用、OJT等による育成 ②外部コンサルタント等の助言を得ながら、リーダー的人材の育成、チームケアの実践等の取組 ③一連の実践を踏まえ効果、改善点の検証	
アウトプット指標（当初の目標値）	・モデル施設・事業所数：4箇所 ・成果報告会：年1回	
アウトプット指標（達成値）	○モデル施設へのコンサルタント（県委託） 4事業所（4地区） ○外部コンサルを受けながら実践するチームケア事業に対する補助 4事業所（4地区） ○訪問介護業務効率化支援 8事業所（福岡市）	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護に関する専門的知識・技術がなくても行える業務（周辺業務）に従事できるよう、介護助手等多様な人材の雇用、OJT等による育成を行う施設等を選定し、取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うことで、多様な人材の介護分野への参入促進を図る。 観察できた→本事業を実施することで、多様な人材の介護分野への参入が促されている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで、多様な人材の介護分野への参入が促されている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護に関する専門的知識・技術がなくても行える周辺業務に従事する多様な人材を採用し、育成する取組に対しコンサルティングや費用の助成を行うことで、効率的に多様な人材の介護分野への参入を促すことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.18】 外国人留学生等の参入促進事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護福祉士養成施設に補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	国内人材の確保に関する取組、及び留学生の国内定着に関する取組を行った介護福祉士養成施設に対して補助を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	補助事業実施養成施設：11箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	取組実施施設 8箇所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設において、将来の介護現場を担う世代に対する介護の専門性や意義を伝達する取組や、今後増加することが予想される留学生への日本語学習支援等による質の高い人材の養成・確保に係る取組を推進する。 観察できた→介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。	
	<p>（1）事業の有効性 介護福祉士養成施設における、国内人材の確保に関する取組及び留学生の国内定着に関する取組等、人材の養成・確保に係る取組が推進されている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護に関する教育機関である介護福祉士養成施設において、人材の養成・確保に係る取組が推進されることにより、質の高い国内人材の確保や留学生の国内定着が期待できる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.19】 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給に係る支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 □継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県が県内の介護施設等に、当該介護施設等が介護福祉士資格の取得を目指す留学生に対して行う奨学金等の一部を補助する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	支援対象留学生：186人／年	
アウトプット指標（達成値）	補助対象留学生 86人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士資格の取得を目指す意欲ある留学生の就学期間中の支援を図り、将来当該留学生を介護専門職として雇用しようとする介護施設等の負担を軽減するため、当該介護施設等が行う奨学金等を一部助成することで、県内の介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内の介護施設・事業所への就職を促し、介護人材の参入を促進する。 観察できた→介護施設等が留学生に対して行う奨学金等を一部助成することにより、県内養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設・事業所への就職が促されている。	
	<p>（1）事業の有効性 介護施設等が留学生に対して行う奨学金等を一部助成することにより、県内養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設・事業所への就職が促されている。</p> <p>（2）事業の効率性 意欲のある留学生を養成施設における就学期間中から支援することにより、将来の介護人材としての参入をより効果的に促進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.20】 介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生 マッチング支援体制構築事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	資格取得を目指す留学生を確保するため、県が実施主体となって「マッチング支援団体」に委託し、県内養成施設に留学させ、県内介護施設等に就職するまでのマッチングを一元的に行い、円滑な受入支援体制を構築する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	留学生マッチング件数：50件／年	
アウトプット指標（達成値）	マッチングした留学生 13人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：入国まで継続して支援を行うことにより、留学生の円滑な受入体制を構築し、介護人材の参入促進を図る。 観察できた→入国まで継続して支援を行うことにより、留学生が辞退することなく、円滑な受入体制を構築することができた。 （1）事業の有効性 入国まで継続して支援を行うことにより、留学生が辞退することなく、円滑な受入体制を構築することができた。 （2）事業の効率性 適切なマッチング支援を一元的に行うことにより、留学生の受入を円滑に進めることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.21】 外国人介護人材受入支援モデル事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設・事業所に対する外国人介護人材受入の土台作りのための研修、セミナー及びマッチング支援のためのイベント等	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護事業所向けセミナーからマッチングまでの一体的イベント 1回/年	
アウトプット指標（達成値）	・外国人留学生と介護事業所とのマッチング等支援説明会 計18回開催、参加実人数 55名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生の受入れ支援を実施することにより、介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の介護施設等への就職を支援し、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促す。 観察できた→介護事業所との距離が近い市町村の目線で外国人留学生の受け入れ支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。	
	<p>（1）事業の有効性 介護事業所との距離が近い市町村の目線で外国人留学生の受け入れ支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。</p> <p>（2）事業の効率性 資格取得を目指す留学生を確保するため受入に当たっての土台作りとして、介護施設・事業所に対する研修やセミナー等を行い、マッチングまで一体的に繋げる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.22】 福祉系高校修学資金貸付事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	福祉系高校に通い介護福祉士の資格取得を目指す学生に対し修学資金を貸し付ける。	
アウトプット指標（当初の目標値）	貸付件数：264件／年	
アウトプット指標（達成値）	利用者数 2校32名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：福祉系高校に通い介護福祉士の資格取得を目指す学生に対し修学資金の貸付を行うことで、若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援する。 観察できた→本事業を実施することにより、若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援している。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業を実施することにより、若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援している。</p> <p>（2）事業の効率性 貸し付けした修学資金は、介護福祉士の資格取得後、3年間介護等の業務に従事した時は返還が全額免除されるため、効率的に若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援している。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.23】 介護分野就職支援金貸付事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護分野への就職を目指す他業種で働いていた者等に対し、就職支援金を貸し付ける。	
アウトプット指標（当初の目標値）	貸付件数：206件／年	
アウトプット指標（達成値）	72名利用	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護分野への就職を目指す他業種で働いていた者等に対し、就職準備のための費用の支援を図り、介護人材の参入を促進する。 観察できた→介護分野への就職を目指す他業種で働いていた者等に対し、就職準備のための費用の支援を図り、介護人材の参入が促されている。	
	<p>（1）事業の有効性 介護分野への就職を目指す他業種で働いていた者等に対し、就職準備のための費用の支援を図り、介護人材の参入が促されている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護分野への就職に意欲のある者を就職準備段階から支援することにより、将来の介護人材としての参入をより効果的に促進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.24】 訪問型の生活支援サービス従事者養成研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域支援事業の総合事業として実施する要支援者等に対する訪問型の生活支援サービスを提供する担い手の育成研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内4地区で実施 200人養成	
アウトプット指標（達成値）	対象：総合事業でのA型（基準緩和型）事業所で働く予定がある人 5開催：37人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：総合事業を全市町村で円滑に導入するために、訪問型の生活支援サービスを提供する担い手が育成される。 観察できた→本事業の実施により総合事業を導入するための訪問型の生活支援サービスの担い手が育成されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により総合事業を導入するための訪問型の生活支援サービスの担い手が育成されている。 （2）事業の効率性 県内6会場で開催することにより幅広い地域の対象者を効率的に育成できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.25】 介護職員技術向上研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職のキャリア段階（1年未満の者、2～3年未満の者、4～8年未満の者）に応じた研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	・勤続年数1年未満対象研修受講者数：700人／年 ・勤続年数2～3年未満対象研修受講者数：800人／年 ・勤続年数4～8年未満対象研修受講者数：1200人／年	
アウトプット指標（達成値）	県内4地区（福岡・北九州・筑豊・筑後）で実施 ①技術向上研修Ⅰ 223人参加 ②技術向上研修Ⅱ 360人参加 ③技術向上研修Ⅲ 357人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職のキャリア段階に応じて、それぞれの段階で直面する課題を解決するための知識や技術の修得を図り、資質向上と職場での定着が図られる。 観察できた→介護職のキャリア段階に応じて研修を実施することで資質の向上と職場での定着が図られている。 （1）事業の有効性 介護職のキャリア段階に応じて研修を実施することで資質の向上と職場での定着が図られている。 （2）事業の効率性 介護職のキャリア段階に応じて研修を行うことで効率的に知識や技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.26】 介護施設等における看取り研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県看護協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設等の看護師が多職種と協働しながら「看取りケア」、看取り支援を行うことができるよう研修を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	・研修開催2回／年 ・受講者100人／年	
アウトプット指標（達成値）	研修開催 1回 受講者 94人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護施設等における看護職が、看取り期にある本人・家族に対して、その意思を尊重しながら、安らかに最後を迎えられるための支援が行われる。 観察できた→本事業を行うことで介護施設等における看護職による支援が行われている。	
	（1）事業の有効性 本事業を行うことで介護施設等における看護職による支援が行われている。 （2）事業の効率性 介護施設等における看護職に対して直接研修を行うことで効率的な看取りに関する情報を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.27】 小規模事業所連携体制の構築支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	複数の小規模事業所でユニットを構成し、連携・協力して、職員交流会を開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	形成ユニット・参加者数（年度）：各20ユニット・300人	
アウトプット指標（達成値）	・職員交流会 18ユニット137人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：複数の事業所が連携・協力し、働きやすい職場づくり、人材育成を行うことにより、規模が小さいほど多い傾向にある離職が改善される。 観察できた→複数の小規模事業所が連携・協力し人材育成を行うことで離職が改善されている。	
	<p>（1）事業の有効性 複数の小規模事業所が連携・協力し人材育成を行うことで離職が改善されている。</p> <p>（2）事業の効率性 複数の小規模事業所が連携することで単独で行うよりも効率的な人材育成が可能である。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.28】 介護職員等喀痰吸引等研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	喀痰吸引等研修の講師を養成する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	養成人数 200人	
アウトプット指標（達成値）	養成人数 93人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢化の進行による医療ニーズの増大に対応するため、たんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成される。 観察できた→本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成されている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師が養成されている。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業の実施によりたんの吸引等を実施できる介護職員養成のための講師を効率的に養成することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.29】 介護業務における介護職員の腰痛予防研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県理学療法士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内4地区で、理学療法士が介護施設及び訪問介護事業所で稼働する介護職員を対象に、腰痛予防の知識や腰痛予防体操によって、介護業務における腰部の過重な負担の軽減を図る研修会を実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修回数：県内全域を対象に1回	
アウトプット指標（達成値）	研修会の開催：2回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：県内全域を対象として理学療法士が介護施設及び訪問介護事業所で稼働する介護職員に対する研修会を実施することで、介護業務における腰部の過重な負担の軽減を図る。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。	
	（1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 理学療法士が研修講師を務めることで専門的な知識を介護職員に効率的に伝える。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.30】 訪問介護サービス提供責任者就任前等研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内全域を対象に、就任前または就任後1年未満のサービス提供責任者を対象として研修会を実施する。なお研修は日本ホームヘルパー協会が標準として提示したサービス提供責任者就任前研修カリキュラムに準拠して実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修回数：県内全域を対象に1回	
アウトプット指標（達成値）	研修会の開催：1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：就任前または就任後1年未満のサービス提供責任者を対象として研修会を実施することにより介護人材の定着に資する。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 就任前または就任後1年未満のサービス提供者に対象を絞ることで研修を通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.31】 介護福祉士を対象としたチームリーダー養成研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護福祉士会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士を対象に研修を実施し、自らの成長課題とチームの課題を認識し、解決に取り組む意欲を高めるとともにリーダーとしての悩みを相談し合える人脈を得る機会を作る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催：1回（延べ3日間）	
アウトプット指標（達成値）	研修：1回開催	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、「介護職チーム内のサービスをマネジメントする役割」に関する自らの成長課題とチームの課題を認識し、解決に取り組む意欲を高めるとともに、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることにより、資質の向上と介護人材の定着を図る。</p> <p>観察できた→介護現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、課題解決に取り組む意欲を高め、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることができている。</p> <p>（1）事業の有効性 介護現場でチームリーダー業務に従事し始めた介護福祉士が、課題解決に取り組む意欲を高め、リーダーとしての悩みを相談しあえる人脈を得ることができている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護福祉士を対象とすることにより、現場リーダーの養成と人脈づくりを効率的に行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.32】 e-ラーニングを活用した人材育成事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県老人福祉施設協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	人材不足等の原因により研修に参加できない介護職員が広く閲覧できるよう、リーダーを育成するための研修をインターネット上に公開する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修2講座をオンライン公開	
アウトプット指標（達成値）	研修動画 8テーマ20本作成・公開	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成し、介護職員に広く研修機会を提供し、資質の向上と介護人材の定着を図る。 観察できた→介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成することにより、介護職員に広く研修機会を提供することができている。	
	<p>（1）事業の有効性 介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対して、リーダーとしてのコミュニケーション技術等に関する研修動画を作成し、介護職員に広く研修機会を提供することにより、資質の向上と介護人材の定着を促すことができている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護の現場でチームリーダー業務に従事し始めた中堅介護職員に対する研修機会の提供を効率的に行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.33】 介護支援専門員資質向上研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護支援専門員の法定研修のほか、コンプライアンス研修（制度改正への対応）、主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修、事業所別研修会（介護支援の種別に応じたケアマネジメントスキルの向上）の開催。	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域を対象に、以下の研修を実施 ①コンプライアンス研修：4回/年 ②主任介護支援専門員に対するフォローアップ研修：8回/年 ③事業所別研修：48回/年	
アウトプット指標（達成値）	・主任ケアマネフォローアップ研修:4回 ・コンプライアンス研修:4回 ・事業所別研修:32回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：国の法定研修ではカバーできない内容について研修を実施し、介護支援専門員の資質向上が図られる。 観察できた→本事業の実施により介護支援専門員の資質向上が図られている。	
	（1）事業の有効性 本事業の実施により介護支援専門員の資質向上が図られている。 （2）事業の効率性 研修の種別によって研修の開催回数を変えることで効率的に研修を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.34】 ケアプラン作成技術向上事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	実務に従事する介護支援専門員の資質向上のために、ケアプラン作成技術向上アドバイザー（ケアプラン点検指導者）を養成し、居宅介護支援事業所等へ派遣する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	①ケアプラン点検指導者の養成研修：年1回 ②ケアプラン点検指導者の派遣：年48回	
アウトプット指標（達成値）	①ケアプラン点検指導者の派遣：2回 ②ケアプラン作成技術向上委員：1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：サービス利用者の自立支援につながるケアプランを作成できるよう、介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上する。 観察できた→本事業によって介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上している。 （1）事業の有効性 本事業によって介護支援専門員のケアプラン作成技術が向上している。 （2）事業の効率性 実務に従事する介護支援専門員に研修を実施することで効率的に介護支援専門員に対してケアプラン作成技術を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.35】 介護従事者資質向上支援事業	【総事業費】 18,246 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県医師会	
事業の期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護従事者が高齢者特有の疾患等にかかる医療的な知識を習得するための啓発冊子を作成、配布。また、冊子を用いた研修会を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修会開催：3 回／年	
アウトプット指標（達成値）	・介護現場で役立つ医療連携ハンドブックの作成 県内高齢者施設・入所系介護サービス事業所、病院・診療所をはじめ関係団体へ配布	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護現場で役立つ医療連携ハンドブックを配布することで、多職種がスムーズに連携を図ることができるよう医療的な知識を習得につなげ、介護従事者の資質向上が図られる。 観察できた→本事業により、介護従事者の資質向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により、介護従事者の資質向上が図られている。 （2）事業の効率性 介護現場で役立つ医療連携ハンドブックを配布することで、効率的に多職種がスムーズに連携を図ることができるよう医療的な知識を習得につなげることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.36】 口腔衛生管理体制支援事業	【総事業費】 1,762 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	令和 3 年度から義務化された口腔衛生管理体制の取組について、令和 6 年度末までにすべての対象施設が実施できるよう、啓発動画の配布等を通じた支援を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	啓発動画の公開：1 回／年	
アウトプット指標（達成値）	・啓発動画及び研修用テキストを作成し、県ホームページにて公表	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：口腔衛生管理体制の取組を実施することができるよう啓発動画の配布を通じ支援を行うことで、資質の向上を図る。 観察できた→本事業により、口腔衛生管理体制の支援を行うことで、資質の向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業により、口腔衛生管理体制の支援を行うことで、資質の向上が図られている。 （2）事業の効率性 啓発動画の配布を通じ支援を行うことで、効率的に口腔衛生管理体制の取組を実施することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.37】 外国人介護職員介護技能等向上事業	【総事業費】 3,000 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	県内で就労する介護職種の技能実習生及び介護分野における1号特定技能外国人を対象として、介護の日本語や介護技能等に関する研修を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	①集合研修：県内4地区各1回 ②訪問研修：4回	
アウトプット指標（達成値）	・研修 参加者 85名	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：1号特定技能外国人が、介護現場において円滑に就労・定着できるように、資質向上を図られる。 観察できた→本事業により、介護の日本語や介護技能等に関する研修を行うことで、介護現場において円滑に就労・定着でき、資質向上を図られた。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業により、介護の日本語や介護技能等に関する研修を行うことで、介護現場において円滑に就労・定着でき、資質向上を図られた。</p> <p>（2）事業の効率性 1号特定技能外国人に対し、介護の日本語や介護技能等に関する研修機会の提供を効率的に行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.38】 外国人介護福祉士候補者学習支援事業	【総事業費】 11,087 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助、一部障害福祉事業所へは国庫補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	経済連携協定（EPA）又は交換公文に基づき入国し、介護施設等で就労しながら介護福祉士資格の取得を目指す外国人介護福祉士候補者が、介護福祉士国家試験に合格できるよう、日本語及び介護分野の専門知識に係る学習の支援を実施。 (1)候補者の日本語学習等に要する経費 (2)候補者の喀痰吸引等研修の受講に要する経費 (3)研修担当者の活動に対する支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	日本語及び介護分野の専門知識に係る学習支援	
アウトプット指標（達成値）	支援対象 22 施設	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各受入施設が行う候補者に対し、日本語及び介護分野の専門知識に係る学習の支援を行い、資質向上を図られる。 観察できた→本事業により、各受入施設が行う候補者に対し、日本語及び介護分野の専門知識に係る学習の支援を行い、資質向上を図られた。	
	（1）事業の有効性 本事業により、各受入施設が行う候補者に対し、日本語及び介護分野の専門知識に係る学習の支援を行い、資質向上を図られた。 （2）事業の効率性 各受入施設が行う候補者ののに対し日本語及び介護分野の専門知識に係る学習の支援を行うことで、効率的に資質向上を図る。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.39】 潜在介護福祉士向け就労支援セミナー事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	潜在介護福祉士に対して、介護現場から離れていたことへの不安感を払拭するための就労支援セミナーを実施する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修実施：2回／年	
アウトプット指標（達成値）	潜在介護福祉士向け就労支援セミナー 県内2地区各1回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護の仕事に従事していない介護福祉士の資格を有する登録者を対象に再就職支援を行い、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られる。 観察できた→本事業の実施により、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、介護福祉士の確保と介護サービスの質の向上が図られている。 （2）事業の効率性 潜在介護福祉士に対して就労支援セミナーを実施することで効率的に介護福祉士の確保ができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.40】 かかりつけ医認知症対応力向上研修	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	<p>かかりつけ医の認知症ケアに関する知識や技術、また、認知症の各段階での適切な対応方法の修得を目的とした研修の実施</p> <p>【カリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する基礎知識 ・認知症の診断 ・認知症の治療とケア ・関係機関との連携 	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加人数 県：180人、北九州市：80人、福岡市：50人	
アウトプット指標（達成値）	かかりつけ医認知症対応力向上研修 参加者 298人	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。</p> <p>観察できた→本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。</p>	
	<p>（1）事業の有効性 本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。</p> <p>（2）事業の効率性 認知症患者と接することの多い医療・介護従事者に研修を行うことによって効率的に認知症患者等に適切な対応ができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.41】 かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県医師会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症の早期症状に関する基礎知識の修得等、かかりつけ医に対する認知症対応力向上のためのフォローアップ研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修受講者：1000人	
アウトプット指標（達成値）	かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修 参加者 1,127人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：かかりつけ医等、認知症患者と接することの多い医療・介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。 観察できた→本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により医師、医療介護従事者が認知症患者や家族への適切な対応を行っている。 （2）事業の効率性 認知症患者と接することの多い医療・介護従事者に研修を行うことによって効率的に認知症患者等に適切な対応ができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.42】 認知症サポート医養成等研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修として、認知症サポート医の養成及びフォローアップの研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	（1）認知症サポート医養成研修受講者数：57人 県：45人、北九州市：8人、福岡市：4人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修受講者数：215人 県：117人、北九州市：58人、福岡市：40人	
アウトプット指標（達成値）	（1）認知症サポート医養成研修 参加者（県）22人（政令市）8人 （2）認知症サポート医フォローアップ研修 参加者 271人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症サポート医の養成とフォローアップを行うことにより、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制が構築される。 観察できた→本事業の実施により医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築が図られている。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業の実施により医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 認知症サポート医に研修を行うことで各地域において効率的に認知症の人への支援体制を構築することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.43】 認知症初期集中支援チーム設置促進事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症初期集中支援チームの設置促進及び認知症支援体制構築のための研修を実施。	
アウトプット指標（当初の目標値）	①認知症初期集中支援チーム員の研修 ②認知症支援体制構築促進のための研修	
アウトプット指標（達成値）	①認知症初期集中支援チーム員の研修 参加者 57人 ②認知症支援体制構築促進のための研修 参加者 101人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各市町村における支援チームの設置の促進が図られる。 観察できた→本事業の実施により、各市町村における支援チームの設置を促進している。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、各市町村における支援チームの設置を促進している。 （2）事業の効率性 市町村職員を対象にすることで効率的に、各市町村における支援チームの設置を促進できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.44】 医療従事者認知症対応力向上等研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（一部委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	医療従事者の認知症対応力向上を図るための研修を実施。 ①歯科医師、②薬剤師、③看護職員、④病院勤務の医師等の医療従事者、 ⑤3職種合同	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加人数 ①歯科医師：（県）200人、（北九州市）50人、（福岡市）100人 ②薬剤師：（県）200人、（北九州市）50人、（福岡市）100人 ③看護職員：（県）230人 ④病院勤務の医師等の医療従事者：（県）200人、（北九州市）100人、（福岡市）100人 ⑤3職種合同：（県）200人	
アウトプット指標（達成値）	①歯科医師（県）65人、（政令市）21人 ②薬剤師（県）323人、（政令市）57人 ③看護職員116人 ④病院勤務の医師等の医療従事者（県）54人、（政令市）42人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：医療従事者の認知症対応力向上を図り、各種施策を総合的に推進していくことで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりが推進される。 観察できた→本事業の実施により、医療従事者の認知症対応力向上を図ることで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、医療従事者の認知症対応力向上を図ることで、認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （2）事業の効率性 医療従事者に研修を行うことで効率的に、認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.45】 認知症介護研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）、北九州市、福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施、また、認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得させるための研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加人数 ①認知症介護指導者フォローアップ研修：5人 ②認知症対応型サービス事業開設者研修：116人 ③認知症対応型サービス事業管理者研修：345人 ④小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修：136人 ⑤認知症介護基礎研修：450人	
アウトプット指標（達成値）	○福岡県 各研修合計 329人参加 ○政令市（北九州市・福岡市） 各研修合計 182人参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実が図られる。 観察できた→本事業の実施により、認知症介護技術の向上が図られている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、認知症介護技術の向上が図られている。 （2）事業の効率性 高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に研修を行うことで、効率的に認知症介護技術の向上を図ることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.46】 施設系サービス従事者認知症対応力向上研修 事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	施設系サービスの介護従事者に対して、行動・心理症状や失認・失行に対する理解と対応を学習することを目的とした研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催：県内4地区で各1回	
アウトプット指標（達成値）	対象：施設系サービス介護従事者 研修：6回開催 計301参加	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険の施設系サービスの介護従事者が、認知症に関する正しい知識と理解に基づき、本人や家族への適切な対応に資する。 観察できた→本事業の実施により、施設系サービス介護従事者が認知症の本人や家族への適切な対応を行っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、施設系サービス介護従事者が認知症の本人や家族への適切な対応を行っている。 （2）事業の効率性 介護従事者に直接研修を行うことで効率的に認知症に関する正しい知識を伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.47】 訪問介護員等認知症対応力向上研修	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりのため、訪問サービスの従事者等を対象とした認知症対応力向上研修を実施 【内容】・認知症の知識 ・早期対応の重要性 ・認知症の人と家族に対する支援	
アウトプット指標（当初の目標値）	・訪問介護員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所 ・介護支援専門員研修：4地域で開催 各会場100人×4ヶ所	
アウトプット指標（達成値）	・訪問介護員研修 4地区×1回開催 参加者106人 ・介護支援専門員研修 4地区×1回開催 参加者144人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けることができる体制づくりが推進される。 観察できた→本事業を行うことで認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （1）事業の有効性 本事業を行うことで認知症の人とその家族が安心して暮らしを続けることができる体制づくりを推進している。 （2）事業の効率性 訪問介護員及び介護支援専門員を研修対象とすることで効率的に認知症の対応力を向上することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.48】 地域互助による認知症高齢者支援体制づくり 事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	特定非営利活動法人福岡県高齢者グループホーム協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）の職員等を対象に、県内4地区で以下の内容の講義、演習を行う。 講義と演習「地域を巻き込む意義と実践」 認知症高齢者支援の模擬訓練視察研修	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催：4ブロックで実施	
アウトプット指標（達成値）	・グループホームを対象とした地域の働きかけを行う研修 参加者 141人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：地域住民の助け合い、世代を超えた住民の集まりの場づくり等をサポートすることで、地域の人たちの認知症を正しく理解し、地域で支える意識を高め、認知症の人やその家族が地域で安心して生活できるための体制の整備に資する。 観察できた→本事業の実施により、グループホーム職員が、地域における認知症の本人や家族への適切な支援体制構築に向けた役割を担っている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により、グループホーム職員が、地域における認知症の本人や家族への適切な支援体制構築に向けた役割を担っている。 （2）事業の効率性 グループホームの事業者団体が直接実施することで、より実践的で効率的に運用されている。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.49】 一般県民、家族介護者向け認知症公開講座 事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県医師会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	大綱における「認知症に関する理解促進」のため、認知症の人や家族の視点に立った認知症に対する正しい理解と、それに基づく適切な対応を図るための、認知症の人や家族と地域住民による意見交換会やグループワーク等の研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修開催：20回／年	
アウトプット指標（達成値）	地域住民、家族介護者向け認知症公開講座 対象：福岡県内居住の地域住民・家族介護者等 13回開催 参加者合計1,703人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症に係る地域での支え合い体制を整備することにより、認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減される。 観察できた→本事業の実施によって認知症に係る意見交換会等の実施により認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施によって認知症に係る意見交換会等の実施により認知症の人やその家族の精神的・身体的な負担や不安が軽減されている。 （2）事業の効率性 福岡県内居住の地域住民・家族介護者等と意見交換等行うことで対象者に効率的に働きかけることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.50】 認知症サポーター活動促進支援体制整備事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	認知症サポーターを中心とした支援者と地域で暮らす認知症の人や家族をつなぐ仕組みであるチームオレンジを整備するため、オレンジコーディネーター等を養成する研修を実施する	
アウトプット指標（当初の目標値）	・オレンジチューター養成研修（国実施）への派遣：3人／年 ・オレンジコーディネーター養成（県実施）：60人／年	
アウトプット指標（達成値）	○チームオレンジ・コーディネーターの養成 参加者数 64人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：認知症の人や家族を地域で支える体制を構築する上で重要なチームオレンジの整備を推進するとともに、地域包括ケア構築のための人材を養成し、その資質向上を図る。 観察できた→認知症の人や家族を地域で支える体制を構築する上で重要なチームオレンジの整備を推進することができている。 （1）事業の有効性 認知症の人や家族を地域で支える体制を構築する上で重要なチームオレンジの整備を推進することにより、地域包括ケア構築のための人材養成とその資質向上が図られている。 （2）事業の効率性 チームオレンジ・コーディネーター等の養成により、市町村等が効率的にチームオレンジの整備・活動を推進することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.51】 生活支援サービス提供体制整備促進事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	多様な主体による介護予防・生活支援サービスを充実させるため、生活支援コーディネーターの養成研修を実施。 また、生活支援コーディネーター間の連携を図ることを目的とし、連絡会を実施することによって、福岡県内の生活支援コーディネーターの孤立を防止し、生活支援コーディネーター同士のネットワークの構築や、他市町村の取組状況についての共有を行うことで、資質向上を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	・生活支援コーディネーターの養成数：100人／年 ・連絡会の開催：4回／年	
アウトプット指標（達成値）	・初任者向け 1回開催 参加者65人 ・現任者向け 4回開催 参加者267人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：市町村による地域資源を活用した介護予防・生活支援サービスの提供体制整備を支援することにより、高齢者が、多様な主体による介護予防・生活支援サービスの提供を受ける。 観察できた→本事業の実施によって市町村による地域資源を活用した介護予防・生活支援サービスの提供体制が整備されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施によって市町村による地域資源を活用した介護予防・生活支援サービスの提供体制が整備されている。 （2）事業の効率性 市町村を支援することで効率的に市町村が地域資源を活用した介護予防・生活支援サービスの提供体制を整備することができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.52】 介護予防市町村支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	市町村の介護予防事業を指導・助言するリハビリ専門職の活用により、リハビリ専門職と地域包括支援センターのネットワークを強化し、地域包括支援センターの機能強化を推進する（下記②）とともに、医療・介護連携を推進するための人材の資質向上を図る（下記①）。 ①市町村に派遣可能なリハビリ専門職を登録し、登録したリハビリ専門職を対象として、地域包括支援センターが行う地域住民向け介護予防教室等への支援事例の共有などの研修会を開催し、リハビリ専門職の資質向上を図る。 ②県介護予防支援センター及びリハビリ専門職団体と連携し、	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修会開催：4回／年	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ専門職の登録 登録者数 584 人 ・研修会 対象：市町村、保健福祉（環境）事務所、介護予防支援センター 参加者 49 人 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：市町村が地域において実施する介護予防事業を支援することにより、地域における効果的な介護予防の推進に資する。 観察できた→本事業の実施により、介護予防事業を指導・助言するリハビリ職の広域派遣の仕組みをつくることで、地域における効率的な介護予防が推進されている。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業の実施により、介護予防事業を指導・助言するリハビリ職の広域派遣の仕組みをつくることで、地域における効率的な介護予防が推進されている。</p> <p>（2）事業の効率性 市町村の介護予防事業を指導・助言するリハビリ職の広域派遣により、効率的に介護予防を推進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.53】 地域包括ケア会議支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域包括ケアシステム構築を推進するため、以下の取組を実施し、地域ケア会議を開催する地域包括支援センターの機能強化を推進する。 ・地域ケア会議に係るアドバイザーを派遣し、地域ケア会議の進行方法に関する助言や模擬会議を実施することで、地域包括支援センターによる自立支援型ケアマネジメント業務の強化を図る。 ・地域ケア会議に参加する専門職や事業者を対象とした研修を開催し、地域ケア会議の意義や専門職としての効果的な助言方法を学ぶことで、多職種連携による地域ケア会議の円滑な運営を促す。 ・地域包括支援センタ 	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣：60回 ・専門職・事業者向けケア会議研修：4回 ・地域包括ケア推進セミナー：1回 ・地域包括ケア研修：4回 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職向け地域ケア会議助言者養成研修 ・地域包括ケア推進セミナー ・市町村等の職員を対象とした研修 <p style="text-align: center;">参加者合計 242人</p>	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：市町村及び地域包括支援センターによる地域ケア会議の推進に資する。 観察できた→本事業を実施することで地域ケア会議を推進している。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで地域ケア会議を推進している。</p> <p>（2）事業の効率性 モデル市町を対象にすることで対象を絞り込み、効率的に地域ケア会議を推進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.54】 リハビリ専門職の介護予防指導者養成事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県作業療法協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	地域のあらゆる通いの場で介護予防の取組を推進するため、リハビリテーション専門職に対し、介護予防推進に係る指導者として必要な知識の習得を図るための研修会を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域で実施、養成者数800人	
アウトプット指標（達成値）	参加者：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、県・市町村職員 3回開催 参加者209人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：高齢者の心身機能の維持・向上が図れるように、それぞれの地域で介護予防推進員や住民に対してリハビリテーションを指導できる人材が養成される。 観察できた→本事業の実施によって地域でリハビリテーション指導する人材が養成されている。	
	（1）事業の有効性 本事業の実施によって地域でリハビリテーション指導する人材が養成されている。 （2）事業の効率性 リハビリテーション専門職等に対して養成事業を行うことで効率的な育成が推進できる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.55】 権利擁護人材養成事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県、北九州市、福岡市、久留米市、中間市、筑紫野市、古賀市、福津市、うきは市、糸島市、水巻町、社会福祉法人福岡県社会福祉協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	市民後見人養成のための研修、市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築、市民後見人の適正な活動のための支援、その他市民後見人の活動の推進に関する事業を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	県事業：60市町村対象に実施	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成のための研修 11市町1団体で開催 参加者 612人 ・市民後見人の活動を安定的に実施するための組織体制の構築 7市1団体で実施 ・市民後見人の適正な活動のための支援 4市で実施 ・その他市民後見人の活動の推進に関する事業を実施することへの支援 9市で実施 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：市民後見制度の体制を整備・強化することにより、市民後見人といった認知症高齢者等の権利擁護に携わる人材の養成と資質の向上に資する。</p> <p>観察できた→本事業を実施することで市民後見人の育成や市民後見人の活動を安定的に実施する組織体制の構築等が図られている。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業を実施することで市民後見人の育成や市民後見人の活動を安定的に実施する組織体制の構築等が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業の実施により市民後見人等に効率的に人材の育成や組織体制の構築等ができています。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.56】 介護事業所の各種研修に係る代替職員派遣 事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険施設・事業所の介護職員が研修を受ける場合に、代替職員を派遣	
アウトプット指標（当初の目標値）	派遣日数：1,320人日／年	
アウトプット指標（達成値）	実人数27人 延べ1,094人日	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険施設・事業所の介護職員が各種研修に参加する場合に、当該施設・事業所に代替職員を派遣することにより、介護職員の研修参加を促し、職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られる。</p> <p>観察できた→本事業の実施により、介護職員の研修参加を促すことで職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られている。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業の実施により、介護職員の研修参加を促すことで職員のスキルアップと入所者・利用者の処遇向上が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護職員の研修参加に代替職員を派遣することで効率的に研修参加を促進することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.57】 看護職に対する介護教育研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県訪問看護ステーション連絡協議会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	訪問看護に係る指導者（中堅職員）及び職員を対象に、新人育成及び医療・介護の知識や技能の向上のための研修を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	県内全域で実施、4回開催	
アウトプット指標（達成値）	・研修 対象：訪問看護師・他医療従事者 3回開催 参加者156事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：訪問看護に係る看護職員が、新人育成及びタイムリーなテーマで必要な知識や技術を学ぶことで、介護職員の早期離職防止・定着促進に資する。 観察できた→本事業の実施により介護職員の早期離職防止・定着促進が推進されている。 （1）事業の有効性 本事業の実施により介護職員の早期離職防止・定着促進が推進されている。 （2）事業の効率性 指導を行う中堅職員を対象とすることで、効率的に新人育成を行うことができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.58】 初任者及び中堅職員に対する職場環境改善 研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 □継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職の定着率を高め職場環境を改善することを目的として、「初任者向け研修（入職～2年目）」、「中堅職員向け研修（事務長・課長クラス）」、「介護からの離職をテーマとしたシンポジウム」を開催	
アウトプット指標（当初の目標値）	・初任者向け研修：4回開催／年 ・中堅職員向け研修：4回開催／年 ・シンポジウム：1回開催／年	
アウトプット指標（達成値）	・初任者向け研修:6回 ・中堅職員向け研修:6回 ・シンポジウム:1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：初任者向けに介護職員としての意識と行動を身に着ける研修、中堅職員向けにリーダーとしての遂行能力、育成能力を身に着ける研修を実施、介護職員が安心して働き続けられる職場環境の整備をテーマとしたシンポジウムを開催することにより、介護人材の定着に資する。 観察できた→本事業実施により介護人材の定着を推進している。	
	<p>（1）事業の有効性 本事業実施により介護人材の定着を推進している。</p> <p>（2）事業の効率性 初任者と中堅職員を対象とすることでそれぞれに有効な知識を研修を通じて効率的に伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.59】 看護管理者等の管理能力向上事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	公益社団法人福岡県看護協会	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護施設の看護管理者等を対象とした研修会を開催し、管理者としての役割に対する理解を深め、また管理者同士で問題を共有して悩みを解決することで、労働関係法規をはじめとした雇用管理に係る各種制度の理解を促進し、働き続けることのできる職場づくりの推進等を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	・研修開催：1回 ・受講者：50人	
アウトプット指標（達成値）	研修：1回開催 受講者：36人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護施設等の看護管理者等を対象として研修会を実施することにより、介護職員及び看護職員の雇用管理環境等の改善を図る 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。	
	（1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 介護施設等における看護管理者等に対して直接研修を行うことで雇用管理環境の改善等に関する情報を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.60】 介護職員管理能力向上事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職員に対する人事管理、マネジメント、リーダーシップ、人材育成等について、理論講義、グループ討議、演習、自己診断、事例研修等の形式による研修会を行うとともに、小規模事業所のうち定着率が特に低い事業所に対しては、アドバイザーによる訪問指導を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	研修参加数：360事業所／年	
アウトプット指標（達成値）	県内4地区、23会場で実施 研修の受講者数104人	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：管理者や中堅職員等に対し、組織マネジメント、リーダーシップ、コーチング理論、具体的な雇用改善方策に取り組むための研修を実施し、介護職員が安心して働き続けられる環境整備に資する。	
	<p>観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 本事業により管理者や中堅職員等に対し知識を効率的に伝達することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.61】 介護の職場環境改善セミナー実施事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	北九州	
事業の実施主体	北九州市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護事業所の経営者や管理者を対象に、介護事業所が抱える労務管理・人材育成に関する課題を解決するための知識や手法を学ぶ「介護の職場環境改善セミナー」を実施。セミナーは人材育成・人材定着の手法や介護経営、メンタルヘルス、労働トラブルの防止などをテーマに実施する。 セミナー受講対象者：北九州市内の介護保険事業所の経営者及び管理者	
アウトプット指標（当初の目標値）	介護の職場環境改善セミナー：10回開催/年	
アウトプット指標（達成値）	介護の職場環境改善セミナー：12回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護事業所の経営者や管理者を対象にしたセミナーの実施により職場の環境改善を図り、介護事業所における人材の定着に資する。 観察できた→本事業により介護職場の環境改善が図られている。	
	（1）事業の有効性 本事業により介護職場の環境改善が図られている。 （2）事業の効率性 介護事業所の経営者や管理者を対象を絞ることでセミナーを通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.62】 経営者・管理者向けマネジメント研修事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険事業所の経営者及び管理者を対象に人・組織、サービス、財務に関する統合的なマネジメント研修を実施する。（例：経営者の意識改革、リーダーシップ開発、組織マネジメント、人事・労務管理改善、人材育成、メンタルヘルス向上、業務効率化、労働環境改善等） 研修受講対象者：福岡市内の介護保険事業所の経営者及び管理者	
アウトプット指標（当初の目標値）	経営者・管理者向けマネジメントセミナー：10回開催／年	
アウトプット指標（達成値）	経営者・管理者向けマネジメントセミナー：14回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護保険事業所の経営者や管理者が意識改革を行い、総合的マネジメントを学ぶことで、事業所内の様々な課題解決の知識・手法を身に着けるための研修を実施し、経営者・管理者を中心とした職場環境改善を図る。 観察できた→介護保険事業所の経営者・管理者の意識改革が進み、経営者・管理者を中心として職場環境改善が図られている。	
	<p>（1）事業の有効性 介護保険事業所の経営者・管理者の意識改革が進み、経営者・管理者を中心として職場環境改善が図られている。</p> <p>（2）事業の効率性 介護事業所の経営者や管理者を対象を絞ることで、研修を通じて有効な知識を効率的に伝えることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.63】 介護ロボット・エキスパート育成事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護保険事業所の職員対象の介護ロボット現場リーダー養成研修、経営者・管理者対象の介護ロボット管理者向け研修及び介護ロボットアドバイザーによるロボット機器マッチング・試用貸出の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・現場リーダー養成研修：年9回開催 ・管理者向け研修：年9回開催 ・試用貸出：年9事業所 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 4回開催 参加者延べ12人 	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行い、導入率を高めることで職場の環境改善を図り、介護人材の定着につなげる。</p> <p>観察できた→介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行うことができている。</p>	
	<p>（1）事業の有効性 介護ロボットに精通した職員を育成するとともに、経営者・管理者の介護ロボット等に関する知識を深め、介護ロボット等の導入動機づけを行い、導入率を高めることにより、介護の職場環境改善と介護人材の定着を促すことができている。</p> <p>（2）事業の効率性 職員に対する研修と併せて経営者・管理者向けの研修を一体的に実施することにより、効率的に介護ロボット導入への動機づけを行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.64】 ノーリフティングケア普及促進支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	ノーリフティングケアの正しい認識、導入目的や期待される効果、管理者として取り組むべき職場環境改善等を内容とした管理者向け研修会、モデル施設を対象としたマネジメント研修、モデル施設による取組報告会及びリーダー施設養成のための指導者養成研修の実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者向け研修：年1回 ・モデル施設マネジメント研修：年5回 ・取組結果報告会：年1回 ・指導者養成研修：年10回 	
アウトプット指標（達成値）	<ul style="list-style-type: none"> ○取組施設数 49施設 うちメンター12施設、アドバイザー22施設、新規取組15施設 ○新規取組施設マネジメント研修 4地区 計6回開催 ○モデル施設指導者育成研修 4地区 計9回開催 ○地域連絡協議会 33回開催（4地区） 	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：抱え上げない、持ち上げない、引きずらないケアであるノーリフティングケアを普及し、職員の負担軽減や職場環境の改善を進めることにより、介護人材の定着を図る。 観察できた→ノーリフティングケアの普及を進めることができている。	
	<p>（1）事業の有効性 ノーリフティングケアの普及により、職員の身体的負担を軽減するとともに、職場環境の改善を進めることにより、介護人材の定着を図ることができている。</p> <p>（2）事業の効率性 モデル施設を選定し、管理者向け研修やマネジメント研修等に段階的に取り組み、その結果報告会を実施することにより、ノーリフティングケアを効率的に普及させることができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.65】 介護業務効率化支援モデル事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	福岡・糸島	
事業の実施主体	福岡市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	モデル事業所を選定し、ICTに詳しいコンサルタントを派遣することでICT導入に向けた業務効率化を支援するとともに、必要に応じてモデル事業所内の介護職員にICT機器の操作方法等の研修を実施。併せて、業務効率化の好事例について周知を行う	
アウトプット指標（当初の目標値）	・モデル事業所 7事業所選定 ・コンサルティング 各6回/年	
アウトプット指標（達成値）	・ICTを活用した介護事業所の業務効率化支援 参加事業所 2事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけにつなげる。 観察できた→各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけを行うことができる。	
	<p>（1）事業の有効性 各事業所内におけるICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、好事例を周知することにより、介護分野のICT化への動機づけを行うことができる。</p> <p>（2）事業の効率性 ICT化に向けた業務効率化の取組を支援し、介護分野のICT化への動機づけを効率的に行うことができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.66】 介護のしごと「人材定着・職場環境改善」表彰 事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	北九州	
事業の実施主体	北九州市	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	事例の募集：他の事業所のモデルとなる「人材定着・職場環境改善への取り組み」を介護保険事業所に募集 表彰式：応募事例を選考後、表彰式において事業所等を表彰するとともに、表彰を受けた事業所が取り組み内容を発表する。 広報・啓発：受賞事業所等について、北九州市が市のホームページで広報・啓発を図る。	
アウトプット指標（当初の目標値）	事例募集・選考・表彰は年に1回実施。	
アウトプット指標（達成値）	・表彰受賞者 1事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員の育成や、処遇・職場環境の改善による介護人材の定着促進に積極的に取り組む介護事業所を表彰し、その取り組みを広く公開し、他の介護事業所に周知することで、介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図り、介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤を整備する。 観察できた→本事業の実施により介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤の構築に寄与している。 （1）事業の有効性 本事業の実施により介護人材の確保・定着・資質の向上に係る取組の基盤の構築に寄与している。 （2）事業の効率性 介護の仕事の魅力発信や就業環境の整備に対する意識の向上を図ることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.67】 外国人介護人材受け入れ施設環境整備事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所、県内介護福祉士養成施設に補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れるための環境整備等に要する経費の一部を補助	
アウトプット指標（当初の目標値）	・介護施設等に対する補助：210箇所／年 ・養成施設に対する補助：4箇所／年	
アウトプット指標（達成値）	・受入施設等に対する補助 33件 うち介護施設・事業所 30件、介護福祉士養成施設 3件	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護福祉士養成施設を卒業した外国人留学生の県内介護施設等への就職、介護職種の技能実習生や介護分野の特定技能外国人等を受け入れた施設に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促す。 観察できた→外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことができた。 （1）事業の有効性 外国人留学生、介護職種の技能実習生及び介護分野の特定技能外国人等を受け入れた県内介護施設等に対する支援を行うことにより、外国人介護人材の円滑な就労と定着を促すことができる。 （2）事業の効率性 外国人介護人材の受入れにあたって、コミュニケーションや文化・風習の違いによる不安、学習支援や生活支援のための体制が整備できない等の困難を抱える介護施設等を支援することで、外国人介護人材の就労と定着に繋げることができる。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.68】 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援 事業	【総事業費】 1,336,814 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護サービス事業所・施設等が、感染機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供するために必要な経費について支援を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	対象施設への補助：1,392事業所	
アウトプット指標（達成値）	事業継続支援補助実績 2,384件	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組に対して補助することで、労働環境・処遇の改善を図る。</p> <p>観察できた→本事業により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組が行われ、労働環境や処遇が改善している。</p> <p>（1）事業の有効性 本事業により、通常の介護サービスでは想定されない、関係者の緊密な連携や特別な形でのサービス提供に関する取組が行われ、労働環境や処遇が改善している。</p> <p>（2）事業の効率性 新型コロナウイルス感染症の影響で必要となる取組は、地域やサービス種別により異なるため、各事業所に補助を行うことで効率的かつ速やかに実施することができる。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.69】 緊急時介護人材応援派遣に係るコーディネート事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護サービス事業所・施設等で新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者が発生し運営が困難になった場合等に備えて、県内の介護関係4団体に委託して施設間の支援調整を行う。	
アウトプット指標（当初の目標値）	発生見込：20施設	
アウトプット指標（達成値）	実績なし	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 観察できた→	
	（1）事業の有効性 （2）事業の効率性	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.70】 介護ロボット導入支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の6分野について、介護施設等における介護ロボットの導入を支援。先駆的な取組として他の介護施設等への普及を図る。 ・1機器につき最大30万円(移乗支援又は入浴支援の場合は最大100万円)の補助 ・見守り機器導入に伴う通信環境整備の場合、最大150万円の補助	
アウトプット指標（当初の目標値）	・介護ロボット導入支援 令和5年度：155事業所、合計1,312台の導入を想定 ・通信環境整備支援 令和5年度：59事業所を想定	
アウトプット指標（達成値）	R5：ロボット導入 292事業所 2,334台、通信環境整備 113事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護ロボットの導入を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減とともに、介護業務の効率化が図られる。 観察できた→本事業実施により、介護施設での介護従事者の負担軽減、介護業務の効率化が図られている。 （1）事業の有効性 本事業実施により、介護施設での介護従事者の負担軽減、介護業務の効率化が図られている。 （2）事業の効率性 介護施設の介護ロボット導入の負担を軽減することで効率的に介護ロボット導入を促進する。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.71】 介護事業所に対する ICT 導入支援事業	【総事業費】 0 千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（県内介護事業所に補助）	
事業の期間	令和 5 年 4 月～令和 7 年 3 月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和 7 年度には高齢化率（65 歳以上人口割合）が約 30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和 8 年度までに福岡県で必要となる介護人材 94,458 人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護事業所における ICT 導入を促進するため、介護ソフト及びタブレット端末等に係る導入費用の一部を補助する	
アウトプット指標（当初の目標値）	令和 5 年度：370 施設・事業所／年	
アウトプット指標（達成値）	R5 ・ICT 導入 343 施設・事業所	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：介護職場における ICT の導入を促進し、介護施設等の介護従事者の負担軽減とともに、介護業務の効率化を図る。 観察できた→本事業実施により、介護施設での介護従事者の負担軽減、介護業務の効率化が図られている。 （1）事業の有効性 本事業実施により、介護施設での介護従事者の負担軽減、介護業務の効率化が図られている。 （2）事業の効率性 介護施設の ICT 導入の負担を軽減することで効率的に ICT 導入を促進する。	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.72】 介護職員処遇改善加算強化事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。	
	アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算の届出を行う事業者に対して、人事評価制度や職位・職責に応じた任用要件・賃金体系の確立等について助言を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	加算届出事業所数：1,100箇所	
アウトプット指標（達成値）	対面での相談・助言 1回開催	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員処遇改善加算及び特定処遇改善加算の届出を行う事業者の相談に対して助言を行うことで、加算制度への理解を促し、加算取得を推進することにより、介護職員の確保・定着に結び付ける。 観察できた→相談に対する助言により、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。	
	<p>（1）事業の有効性 相談に対する助言により、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。</p> <p>（2）事業の効率性 相談を受け個別に助言することで、介護職員処遇改善加算制度への理解を促すことができています。</p>	
その他		

事業の区分	5. 介護従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.73】 介護職員処遇改善加算取得促進支援事業	【総事業費】 0千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	福岡県（委託事業）	
事業の期間	令和5年4月～令和6年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	福岡県において団塊の世代が後期高齢者となる令和7年度には高齢化率（65歳以上人口割合）が約30%に達すると予測され、生活習慣病など慢性疾患の増加に伴い、療養や介護も長期化していくことが見込まれている。 アウトカム指標：令和8年度までに福岡県で必要となる介護人材94,458人を確保する。	
事業の内容（当初計画）	加算取得なしの事業所対象に理解促進のための勉強会の開催、及び加算(Ⅳ)・(Ⅴ)、加算取得なしの事業所に限定して、プッシュ型のアドバイザー（社会保険労務士）派遣を実施	
アウトプット指標（当初の目標値）	・勉強会：24回開催／年 ・アドバイザー派遣：65回／年	
アウトプット指標（達成値）	・勉強会 24回開催 参加者82人 ・アドバイザー派遣 16回実施	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：介護職員処遇改善加算未取得の事業所等に対する勉強会やアドバイザー派遣を通じて、事業所に加算制度への理解を促し、加算取得を推進することにより、介護職員の確保・定着に結び付ける。 観察できた→勉強会やアドバイザー派遣により、介護職員処遇改善加算未取得事業所に加算制度への理解を促すことができている。 （1）事業の有効性 勉強会やアドバイザー派遣を通じて、介護職員処遇改善加算未取得事業所に加算制度への理解を促すことにより、介護職員の確保・定着を図ることができている。 （2）事業の効率性 集合型の勉強会と個別のアドバイザー派遣を組み合わせることにより、介護職員処遇改善加算未取得事業所に対して効率的に加算制度への理解を促すことができている。	
その他		